NTT docomo

N-01D

取扱説明書　'11.11

MEDIAS PP

docomo NEXT series

MEDIAS

はじめに

「N-01D」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

FOMA端末のご使用にあたって

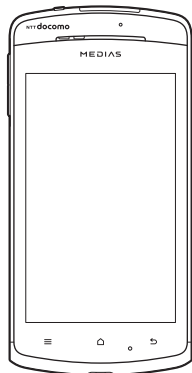
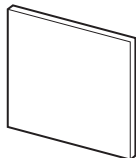
- N-01DはW-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳など）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本FOMA端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。

SIMロック解除

本FOMA端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

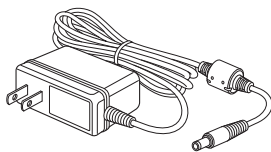
- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

本体付属品

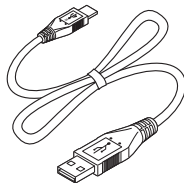
N-01D
（保証書、リアカバー N55含む）

N-01Dクイックスタートガイド

電池パック N29

ワイヤレスチャージャー N01（保証書含む）

<ワイヤレスチャージャー>

<専用ACアダプタ>

microSDカード(2GB)※(試供品)

※お買い上げ時には、あらかじめFOMA端末に取り付けられています。

PC接続用microUSBケーブル(試供品)

●「オプション・関連機器のご紹介」→P.144

本書の見かた

本書の記載について

- 本書では操作手順を以下のように簡略して記載しています。

表記	意味
ホーム画面で［≡］▶「本体設定」▶「通話設定」	ホーム画面で［≡］をタップする▶「本体設定」をタップする▶「通話設定」をタップする

- 本書の本文中においては、『N-01D』を『FOMA端末』と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。
- 本書は、主にお買い上げ時の設定をもとに説明していますので、お買い上げ後の設定の変更によってFOMA端末の表示・操作が本書での記載と異なる場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

FOMA端末で操作方法を確認する

アプリケーション一覧画面で「取扱説明書」を選択すると、本FOMA端末の取扱説明書アプリケーションで操作方法などを閲覧できます。また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

取扱説明書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

目次

N-01Dのご利用にあたっての注意事項

- 本FOMA端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 本FOMA端末はｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなどには対応しておりません。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 本FOMA端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本FOMA端末では、マナーモードに設定中でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、ワンセグの視聴、アラームなど）は消音されません。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「端末情報」▶「端末の状態」
- 本FOMA端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P.153
- FOMA端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後は、古いバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- microSDカードやFOMA端末の容量がいっぱいに近い状態のとき、起動中のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。そのときは保存されているデータを削除してください。
- 紛失に備え、画面ロックのパスワードを設定しFOMA端末のセキュリティを確保してください。→P.93
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、その他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Androidマーケットなどのgoogleサービスや、Twitter、mixiなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンより各種アカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットLL外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- Wi-Fiテザリングの初期設定では、セキュリティは設定されておりません。必要に応じて、セキュリティを設定してください。
- ご利用の料金プランにより、テザリングご利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. FOMA端末、電池パック、アダプタ、ワイヤレスチャージャー、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能については下記を参照してください。
→P.25「防水／防塵性能」

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片､鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

禁止

ワイヤレスチャージャーの表面や本端末のリアカバー、電池パックに金属製のもの（金属を含む材質のシールなど）を貼り付けないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

ワイヤレスチャージャーと､本端末や電池パックの間に、金属製のもの（金属を含む材質のストラップやクリップなど）を置かないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

指示

ワイヤレスチャージャーで充電する場合は、本端末に装着しているカバーなどは取り外してください。
カバーの材質や厚み、本端末とカバーの間に挟まったゴミなどの異物によって、正常に充電ができず、火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（おサイフケータイ ロック設定を行っている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらゲームやワンセグ視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2. FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のドコモminiUIMカード挿入口やmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

スピーカーを「ON」にして通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調整してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部には耐衝撃性の樹脂、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

誤ってディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
内部の物質が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について→P.15「材質一覧」

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

3. 電池パックの取り扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火､環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4. アダプタ、ワイヤレスチャージャーの取り扱いについて

⚠警告

禁止

アダプタやワイヤレスチャージャーのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタやワイヤレスチャージャーは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタやワイヤレスチャージャーには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタやワイヤレスチャージャーのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ワイヤレスチャージャーとFOMA端末の間に異物を置かないでください。
発熱や発火、やけどの原因となります。

禁止

ワイヤレスチャージャーにアルミなどのシールや金属製のものを貼り付けないでください。
発熱や発火、やけどの原因となります。

禁止

ワイヤレスチャージャーに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。
発熱や発火、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、ワイヤレスチャージャー、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水で濡れたものをワイヤレスチャージャーで充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V
（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指示
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
指示
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
指示
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタやワイヤレスチャージャーのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
指示
火災、やけど、感電の原因となります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ワイヤレスチャージャーのご使用にあたって医師とよく相談してください。
指示
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
電源プラグを抜く
火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
電源プラグを抜く
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
電源プラグを抜く
火災、やけど、感電の原因となります。

5. ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
指示
けがの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■材質一覧

使用箇所		材質	表面処理
外装ケース	ディスプレイ面	ナイロン樹脂	UVコーティング
	電池面	ナイロン樹脂	すず蒸着、UVコーティング
	ボトムパーツ	PC樹脂	UVコーティング
ディスプレイパネル		強化ガラス	フッ素コーティング
ディスプレイ面パネル		アクリル、PC複合樹脂	ハードコート
ライトおよび赤外線ポートパネル			
カメラパネル			
カメラリング		ABS樹脂	すず蒸着、UVコーティング
リアカバー	表面	PC樹脂	UVコーティング
	止水部	シリコーンゴム	フッ素コーティング
キー	電源キー	PC樹脂	すず蒸着、UVコーティング
	ボリュームキー		
外部接続端子キャップ	本体	PC樹脂、ポリエステル系熱可塑性エラストマー	すず蒸着、UVコーティング
	止水部	シリコーンゴム	シリコーンコーティング
ワンセグアンテナ	上段及び中段	ステンレス合金	-
	下段	ニッケルチタン合金	-
	根元ヒンジ部	ステンレス合金	-
	先端キャップ	ABS樹脂	-
電池パック収納部	側面	ナイロン樹脂	-
	底面	マグネシウム合金MD1D（JIS）相当品	化成処理
	ロックスイッチ	POM樹脂	-
	内部フレーム	PC樹脂	-
	レバー	ステンレス合金	-
	ネジ	ステンレス合金	黒染め
電池端子	電池端子コネクタ本体	LCP樹脂	-
	端子部	リンセイ銅	金メッキ
電池パック（端子）	電池パック本体	樹脂部：PP樹脂 ラベル：PET樹脂	-
	端子部	ガラスエポキシ樹脂	金メッキ

7. PC接続用microUSBケーブル（試供品）の取り扱いについて

⚠危険

禁止
高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止
電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止
分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止
水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示
FOMA端末に使用する電池パックおよびPC接続用microUSBケーブルは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止
強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止
充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止
コードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
雷が鳴り出したら、PC接続用microUSBケーブルには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止
パソコンのUSBコネクタにつながれた状態でPC接続用microUSBケーブルのUSBコネクタ端子をショートさせないでください。また、PC接続用microUSBケーブルのUSBコネクタ端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
PC接続用microUSBケーブルの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
パソコンのUSBコネクタに抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止
濡れた手でPC接続用microUSBケーブルに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **PC接続用microUSBケーブルをFOMA端末の外部接続端子やパソコンのUSBコネクタ端子から抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

PC接続用microUSBケーブルのUSBコネクタ端子についたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

PC接続用microUSBケーブルをパソコンのUSBコネクタに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

PC接続用microUSBケーブルをパソコンのUSBコネクタから抜く場合は、PC接続用microUSBケーブルを無理に引っ張らず、パソコン側コネクタを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

長時間使用しない場合は、PC接続用microUSBケーブルをパソコンのUSBコネクタから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにパソコンのUSBコネクタからPC接続用microUSBケーブルを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

お手入れの際は、PC接続用microUSBケーブルをパソコンのUSBコネクタから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

8. microSDカード（試供品）の取り扱いについて

⚠危険

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

異常な音や臭いがしたり、過熱、発煙した時は、すぐにパソコンなどの使用機器および周辺機器のスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、本製品には触らないでください。
再び使用せずにNECモバイルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

⚠注意

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込むと窒息またはけがの恐れがあります。万が一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

端子部に直接触れたり金属や硬い物をあてたり、ショートさせたりしないでください。
静電気などによりデータが破壊、消失する恐れがあります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

本製品は、SDメモリカード規格標準のフォーマット済みです。本製品をフォーマットする場合は、本製品に記憶されたデータが消失されますので、別にバックアップを取るなどして保管してください。
パソコンおよびSDメモリカード規格非準拠の機器でフォーマットを行うと、データの書き込み、あるいは読み出し、消去ができないなどの異常が発生することがあります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **N-01Dは防水／防塵性能を有しておりますが、FOMA端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**
  電池パック、アダプタ、ワイヤレスチャージャー、ドコモminiUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
  また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
- **電池パック、アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

FOMA端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。

- **バイブレータの振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。**
- **外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子（イヤホンマイク端子）キャップを閉じた状態でご使用ください。**
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **受話口／スピーカー部分に鋭利な硬いものを入れないでください。**
  FOMA端末の故障、破損の原因となります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- **シールなどでFOMA端末を装飾しないでください。**
  ワイヤレスチャージャーで充電できなくなる場合があります。

電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。

アダプタ、ワイヤレスチャージャーについてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - ・湿気、ほこり、振動の多い場所
  - ・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタやワイヤレスチャージャーが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  故障の原因となります。
- **毛布などをかぶせた状態でワイヤレスチャージャーを使用しないでください。**
- **指定の機器や専用ACアダプタ以外は、ワイヤレスチャージャーに使用しないでください。**
- **ワイヤレスチャージャーとFOMA端末の間に、金属製ストラップなどの金属類を挟んで充電しないでください。**
- **FOMA端末にアダプタ（充電microUSB変換アダプタを含む）やPC用microUSBケーブルを接続している状態でワイヤレスチャージャーに置かないでください。**
- **磁気カードなどをワイヤレスチャージャーに近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **ワイヤレスチャージャーに磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

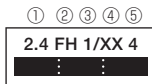
- **ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **IC部分を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。**
  故障の原因となります。

Bluetooth®機能を使用する場合のお願い

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、オブジェクトプッシュ、シリアルポート、フォンブックアクセス、アラートノーティフィケーション、フォンアラートステータス、プロキシミティ、ファインドミー、タイムを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります（対応しているBluetooth機器のみ）。
- 周波数帯について
  FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

①　②③④⑤

2.4 FH 1/XX 4

⑥

① 2.4　：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② FH　：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③ 1　：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ XX　：変調方式がその他の方式であることを示します。
⑤ 4　：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑥　：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■Bluetooth機器使用上の注意事項
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LANについてのお願い

- **無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**
- 無線LANについて
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 周波数帯について
  WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

①　②　③④

2.4 DS/OF 4

■■■ ■■■ ■■■

⑤

① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ■■■ ■■■ ■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所、周波数などが制限されている場合があります。その国の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. **この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。**
2. **万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。**
3. **その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。**

FeliCaリーダー／ライターについて

- **FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**

試供品（PC接続用microUSBケーブル、microSDカード）についてのお願い

- **水をかけないでください。**
  PC接続用microUSBケーブル、microSDカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **金属端子部はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **金属端子部を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **PC接続用microUSBケーブルの端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **PC接続用microUSBケーブルを取り扱うときは、コードを持ってFOMA端末をぶら下げたり引っ張ったりしないでください。**
- **充電は､適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、PC接続用microUSBケーブルが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、PC接続用microUSBケーブルのUSBコネクタを変形させないでください。**
  故障の原因となります。
- **microSDカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **お客様ご自身で、microSDカードに登録された情報内容は、別にバックアップを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **microSDカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **microSDカード使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。

- **microSDカードにラベルやシールなどを貼った状態で、機器に取り付けないでください。機器への取り付け／取り外しができなくなったり、接触不良が発生したりする原因となります。**
- **microSDカードは、長期間または繰り返しご使用になると、データの書き込みや読み込みなどのご使用ができなくなったり、遅くなったりする場合があります。**
- **試供品は無料修理保証の対象外となっております。**

注意

- **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク㊎」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

N-01Dは、外部接続端子キャップを閉じ、リアカバーをしっかりと取り付けた状態でIPX5※1、IPX7※2の防水性能と、IP5X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところにN-01Dを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

- 雨の中で傘をささずに通話、ワンセグ視聴ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
- 手が濡れているときやFOMA端末に水滴がついているときは、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- 洗面器などに張った常温の水道水につけて、静かに振り洗いをしたり、蛇口から弱めに流れる水道水を当てながら手で洗うことができます。
  - リアカバーをしっかり取り付けた状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま洗ってください。
  - 洗うときは、ブラシやスポンジ、せっけん、洗剤などは使用しないでください。
  - 送話口や受話口／スピーカーに蛇口の水を直接当てないでください。

- プールの水や海水に浸けたり、落下させたりしないでください。
- 泥や土などが付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 風呂場で使用できます。ただし、湯船には浸けないでください。
  - 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
  - 風呂場での長時間のご使用はお避けください。

ご利用にあたって

- ご使用前に、外部接続端子キャップ、リアカバーをしっかり閉じ、完全に装着している状態にしてください。微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）がわずかでも挟まると水や粉塵の侵入の原因となります。
- 水中でFOMA端末を使用（キー操作など）しないでください。
- 次のイラストのように、常温の水以外の液体などをかけたり浸けないでください。

<例>

せっけん／洗剤／入浴剤

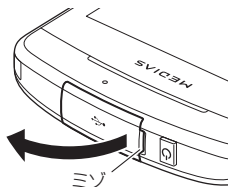
海水

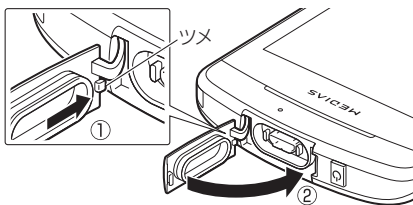
プール

温泉

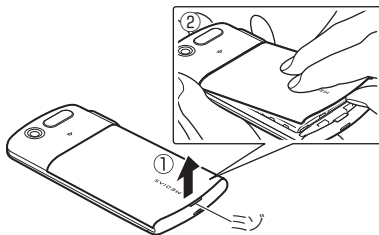
外部接続端子キャップの開けかた／閉じかた

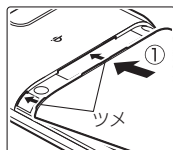
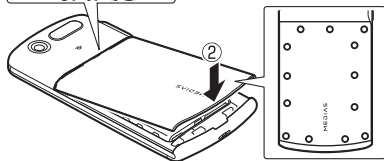
■開けかた

ミゾに指などをかけて矢印の方向に開けてください。

■閉じかた

図のように、キャップ裏面のツメを①の方向に差し込んだ状態で、②の方向にしっかりとキャップ全体を押し込んで取り付けます。

リアカバーの取り付けかた／取り外しかた

■取り外しかた

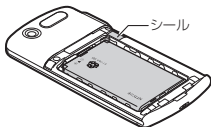
1. FOMA端末を手に持ち、ミゾに指などをかけて、①の方向にリアカバーを持ち上げる
2. イラストのように、開いた隙間に指をいれ、無理な力を加えないよう取り外す

■取り付けかた

1. リアカバーのツメを①の方向に差し込み、②の方向にしっかりと押し、取り付ける

○部分をしっかりと押し、FOMA端末とすきまがないことを確認してください。

おしらせ

- リアカバーを取り外すときは、水抜きを行い、FOMA端末の水分をよく拭き取ってください。
- リアカバーを取り付けるときは、リアカバー周辺（特にゴムパッキン）にゴミや汚れが付着していないことを確認してください。
- リアカバーを確実に取り付けないと、水や粉塵の侵入の恐れがあります。
- リアカバーを取り付ける際は、ドコモminiUIMカードやmicroSDカード、電池パックが確実に取り付けられていることを確認してください。ドコモminiUIMカードやmicroSDカードの挿入が不十分だと、電池パックがドコモminiUIMカードやmicroSDカードにのり上げ、リアカバーを取り付けた際に、FOMA端末とリアカバーの間にすきまが生じて防水／防塵性能を損なう場合があります。

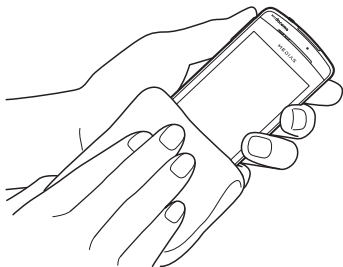
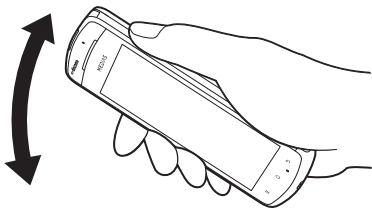
防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換はFOMA端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

重要事項

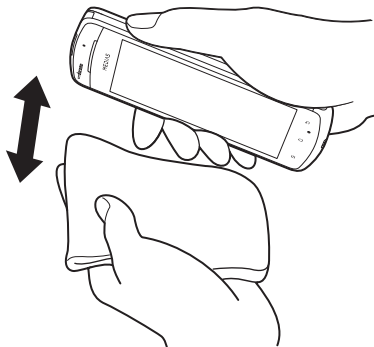
- 外部接続端子キャップまたはリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップ、リアカバーのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また､ゴミが付着しないようにしてください。外部接続端子キャップ、リアカバーのゴムパッキンが傷ついたり、変形した場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。
- 外部接続端子キャップやリアカバーのすきまに、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、水や粉塵の侵入の原因となることがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- 結露防止のため、寒い場所から風呂場などへはFOMA端末が常温になってから持ち込んでください。
- 規定（P.25）以上の強い水流（たとえば､蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。N-01DはIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 送話口や受話口／スピーカーなどを綿棒や尖ったものでつつかないでください。防水／防塵性能が損なわれることがあります。
- FOMA端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口や受話口／スピーカーに水滴を残さないでください。水滴が付着していると通話音量や着信音などが小さくなり、音質が悪くなる場合があります。このような場合は、水抜きを行うことで元に戻ります。
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様のお取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。
- リアカバーをしっかりと取り付けていても、以下の箇所のシールをはがすと、防水性能を損なう恐れがありますので、シールをはがさないでください。

水に濡れたときの水抜きについて

FOMA端末を水に濡らした場合、必ず下記の手順で水抜きを行ってください。

- ●送話口や受話口／スピーカーに水滴が付着していると受話音やメロディ音などが小さくなり、音質が悪くなる場合があります。その場合、以下の手順で水抜きを行い、その後十分に自然乾燥させることで元に戻ります。

1 FOMA端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

2 FOMA端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

<送話口や受話口／スピーカーの水抜き>

3 送話口や受話口／スピーカーのすきまに溜まった水は、乾いた清潔な布などにFOMA端末を軽く押し当てて拭き取る

- ・すきまに溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。

4 FOMA端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取る

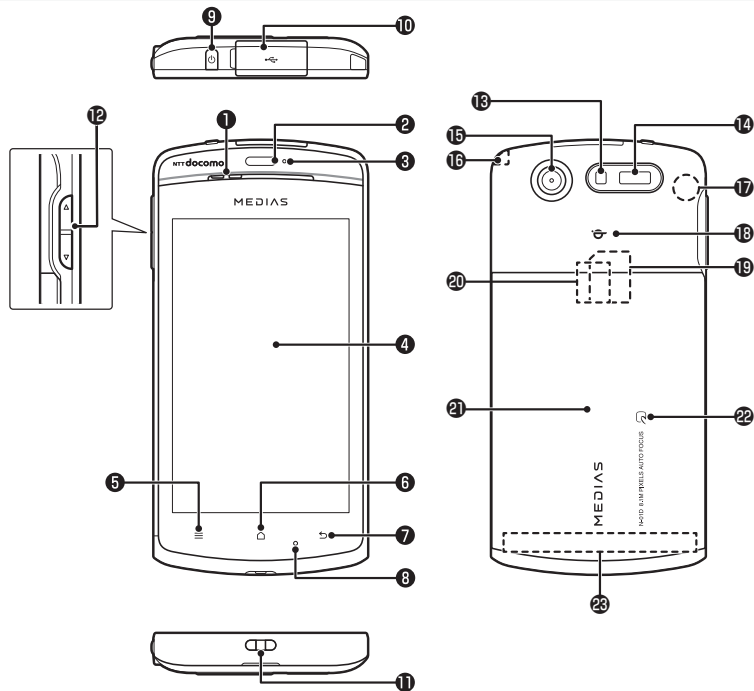
- ・水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

充電のときは

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には必ず次の点を確認してください。

- FOMA端末が濡れていないか確認してください。水に濡れた後はよく水抜きをして、乾いた清潔な布などで拭き取ってから、付属のワイヤレスチャージャーに置いたり、外部接続端子キャップを開いてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。
  外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、ワイヤレスチャージャーを使用して充電することをおすすめします。
  - FOMA端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
  - 濡れた手でACアダプタ、ワイヤレスチャージャーに触れないでください。感電の原因となります。
  - ACアダプタ、ワイヤレスチャージャーは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

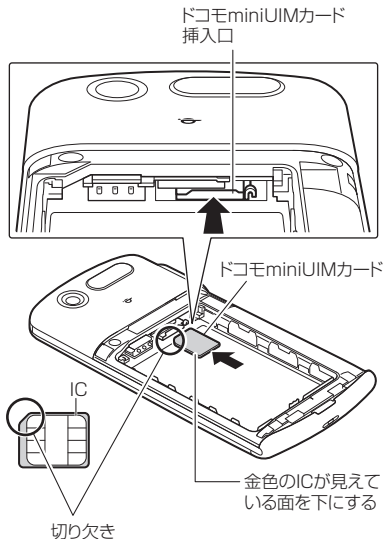
各部の名称と機能

❶受話口（レシーバー）／スピーカー
❷近接／照度センサー
・タッチパネルの誤作動を防ぐため、通話中に顔が近づいたのを検知すると、タップが有効なアイコンを消去します。
・周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動で調整することができます。→P.91
※センサー部分にシールなどを貼らないでください。
❸お知らせLED
・充電中
・着信時（着信ランプ）→P.91
・不在着信、新着メール（お知らせランプ）→P.91
❹ディスプレイ（タッチパネル）
・ディスプレイに表示された画面をなぞってスクロールしたり、選択したりできます。→P.45
❺［≡］メニューキー→P.46
❻［⌂］ホームキー→P.46
❼［↩］バックキー→P.46
❽送話口／マイク
❾電源キー
・電源のON／OFFやスリープモードにします。
❿外部接続端子
・充電時やイヤホン接続時、パソコン接続時などに使用する統合端子です。
⓫ストラップ取付穴
⓬ボリュームキー
・音量を調整します。
⓭ライト／撮影認識LED
・カメラ撮影のときに、点灯させることができます。
・カメラ撮影中は赤色で点滅します。
⓮赤外線ポート
・赤外線通信に使用します。→P.113
⓯カメラ
・動画や静止画撮影のときに使用します。→P.117
⓰ワンセグアンテナ
・ワンセグを受信します。→P.128
⓱GPS／Wi-Fi／Bluetoothアンテナ※
⓲マーク
・ワイヤレスチャージャーを使用して充電するときに、このマークをワイヤレスチャージャーのマークに合わせます。
⓳ドコモminiUIMカードスロット
・ドコモminiUIMカードを挿入します。→P.34
⓴microSDカードスロット
・microSDカードを挿入します。→P.36
㉑リアカバー
・リアカバーの裏側に貼ってあるシールは、はがさないでください。シールをはがすと、マークでの通信が使えなくなる場合があります。
㉒マーク
・おサイフケータイ利用時に、このマークを読み取り機にかざします。→P.132
㉓FOMAアンテナ※
※アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードはお客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。
本FOMA端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

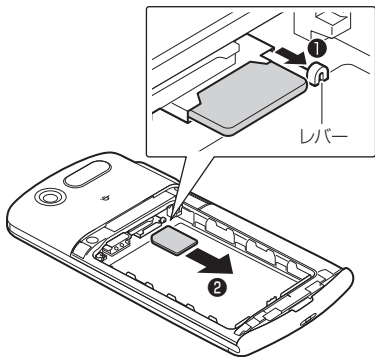
- FOMA端末にドコモminiUIMカードを取り付けないと、一部の機能は利用することができません。
- ドコモminiUIMカードについての詳細は、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。
- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切り電池パックを外してから行ってください(P.38)。また、FOMA端末は手でしっかり持ってください。

■取り付けかた

❶ ドコモminiUIMカードのIC面を下にして、図のような向きでドコモminiUIMカード挿入口に差し込む

❷ ドコモminiUIMカードが固定されるまで奥に差し込む

■取り外しかた

❶ レバーを引いてドコモminiUIMカードを引き出す

❷ ドコモminiUIMカードをゆっくりと抜く

おしらせ

- 無理に取り付け／取り外しを行うと、ドコモminiUIMカードが破損する恐れがありますのでご注意ください。

microSDカード

FOMA端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータをFOMA端末に取り込むことができます。

- N-01Dでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2011年11月現在）。
  microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。
  http://www.n-keitai.com/
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
  掲載されているmicroSDカード以外については、各microSDカードメーカへお問い合わせください。

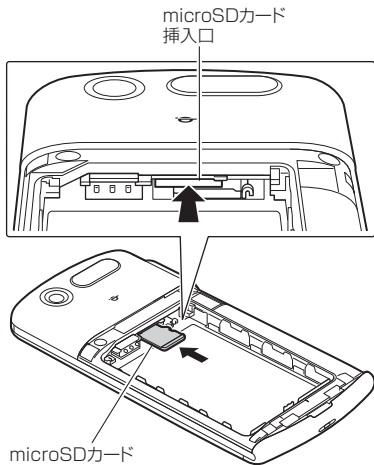
microSDカード利用上のご注意

フォーマットは必ずN-01Dで行ってください。他の端末やパソコンでフォーマットしたmicroSDカードは、使用できないことがあります。
→P.97

- microSDカードのフォーマットを行うと、microSDカード内の内容がすべて消去されますのでご注意ください。
- microSDカードに保存されたデータは、バックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- microSDカードのデータにアクセス中は電源を切らないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。
- microSDカードの取り付け／取り外しは、電源を切り電池パックを外してから行ってください（P.38）。また、FOMA端末は手でしっかり持ってください。

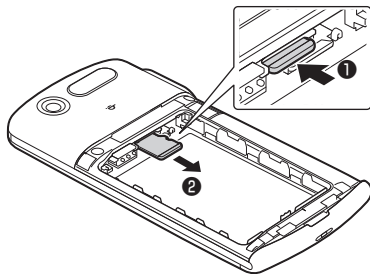
■取り付けかた

1 microSDカードスロットにmicroSDカードを差し込み、ロックされるまで押し込む

・microSDカードの金属端子面を下にしてゆっくりとまっすぐに差し込んでください。完全に奥まで押し込むとロックされます。

■取り外しかた

1 microSDカードを押し込んで手を放す

・microSDカードが少し出てきます。このとき、microSDカードが飛び出すこともありますのでご注意ください。

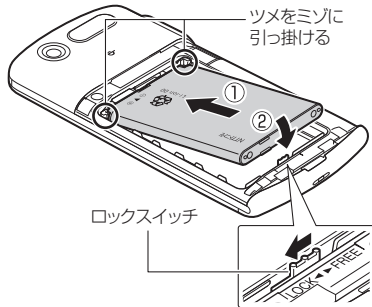
2 microSDカードの溝の部分を持ち、まっすぐにゆっくりと抜く

電池パック

- 本FOMA端末専用の電池パック N29をご利用ください。
- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、FOMA端末は手でしっかり持ってください。
- リアカバーの取り付け／取り外しについて→P.27

■取り付けかた

1 製品名の書かれている面を上にして、電池パックのツメをFOMA端末のミゾに引っ掛け、電池パックとFOMA端末の金属端子が合うように、①の方向に取り付け、②の方向にはめ込む

・ロックスイッチがLOCK側にあると、電池パックは取り付けできません。

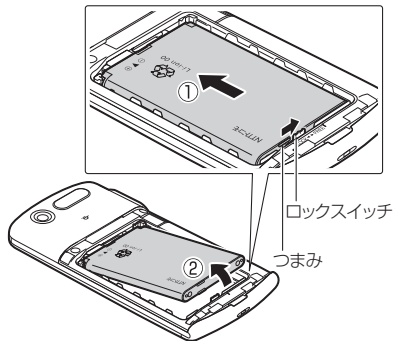
2 ロックスイッチをLOCK側にスライドする

おしらせ

- ツメがミゾに引っ掛かっていない状態で無理に押し込まないでください。ツメが破損する原因となります。

■取り外しかた

1 ロックスイッチをFREE側にスライドする

2 電池パックのつまみを①の方向に押し付けながら②の方向へ持ち上げる

ご使用前の確認と設定

充電

- ●お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

■充電について

- ・詳しくは、FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01(別売)、FOMA ACアダプタ 01/02(別売)、FOMA海外兼用ACアダプタ 01(別売)、FOMA DCアダプタ 01/02(別売)の取扱説明書をご覧ください。
- ・FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02、FOMA海外兼用ACアダプタ 01は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ・ACアダプタのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。AC100Vから240V対応のアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- ・FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01とACアダプタまたはDCアダプタで充電するには、電池パックをFOMA端末に取り付けた状態でないと充電できません。
- ・コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。
- ・電池パックが空の状態で充電を開始すると、しばらくの間FOMA端末の電源が入らない場合があります。
- ・ご使用の状況によっては、電池残量が100%になる前に充電が停止する場合があります。この場合、使用しているすべての機能を終了してから再度充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01またはPC接続用microUSBケーブル(試供品)から外し、再度取り付け直してください。

■充電時間(目安)

FOMA端末の電源を切り、電池パックを電池残量のない状態から充電したときの充電時間です。

機器	充電時間
FOMA ACアダプタ 01/02※	約200分
FOMA DCアダプタ 01/02※	約200分
ワイヤレスチャージャー N01	約300分

※FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01(別売)と接続して充電します。

■十分に充電したときの使用時間(目安)

使用環境や電池パックの状態によって使用時間は異なります。

- ●ワンセグ視聴やGPS機能の使用によって、FOMA端末の使用時間は短くなります。

連続待受時間
FOMA/3G ・静止時(「自動」設定時):約630時間 GSM ・静止時(「自動」設定時):約400時間
連続通話時間
FOMA/3G:約380分 GSM:約450分
ワンセグ視聴時間
約380分

■電池パックの寿命について
・電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
・1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
・充電しながらワンセグの視聴などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

Li-ion00

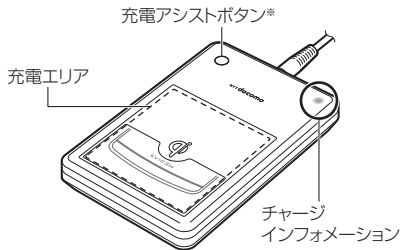
環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

■防水／防塵性能に関して
・電池パック、ACアダプタ、付属のワイヤレスチャージャーは防水／防塵性能を有していません。FOMA端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
・外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、ワイヤレスチャージャーを使用して充電することをおすすめします。
・充電完了後は外部接続端子キャップを確実に閉じてください。水や粉塵の侵入の恐れがあります。

ワイヤレスチャージャーで充電する

●マークがあるドコモ提供の対応機器などをワイヤレスチャージャーの上に置くだけで、接続せずに充電できます。ご使用になる対応機器の取扱説明書をご覧ください。

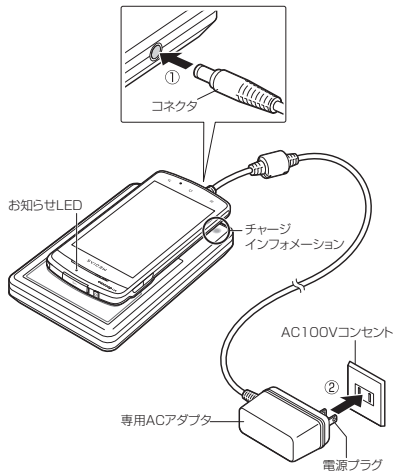
このマークがある製品は、ワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）による無接点充電規格に適合しています。

●各部の名称については以下です。

※小型の対応機器の充電が開始しない場合に使用するボタンです。小型の対応機器とは、出力が小さく（1W程度）、ワイヤレスチャージャーの充電エリアの中央部に置いても充電を開始しない機器です。

1 専用ACアダプタのコネクタをワイヤレスチャージャーに差し込む
・専用ACアダプタ以外は差し込まないでください。

2 専用ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む

③ FOMA端末とワイヤレスチャージャーのマークを合わせ、FOMA端末をワイヤレスチャージャーに置く

- ワイヤレスチャージャーに貼ってあるラベルのイラストと、FOMA端末の位置を合わせ、FOMA端末をゆっくりと置いてください。
- チャージインフォメーションがゆっくり点滅（約1秒間隔）したあと点灯し、充電が始まります。

④ 充電が終わったら、FOMA端末をワイヤレスチャージャーから取り除く

⑤ 専用ACアダプタを電源コンセントから、専用ACアダプタのコネクタをワイヤレスチャージャーから取り外す

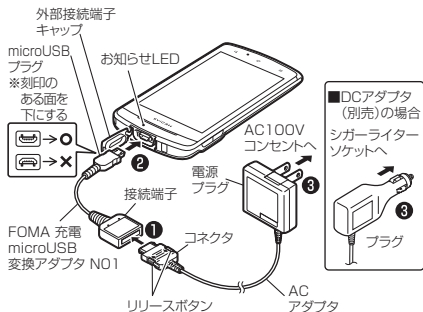
■チャージインフォメーションの見かた

充電の状態によって、以下のように青色で点滅・点灯します。

表示状態	状態
点灯	充電中※
消灯	充電完了または FOMA端末を非認識
点滅（約1秒間隔）	FOMA端末を認識中
点滅（約0.25秒間隔）	充電異常または故障
点滅(約2秒点灯→約1秒後消灯)	充電温度待機中

※充電が完了し、FOMA端末のお知らせランプが消灯しても、チャージインフォメーションはしばらく点灯しています。

ACアダプタ／DCアダプタで充電する

●必ずFOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）、FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01（別売）の取扱説明書を参照してください。

1 ACアダプタ／DCアダプタのコネクタをFOMA 充電microUSB変換アダプタ N01の接続端子に水平に差し込む

・コネクタの刻印がある面を上にした状態で、文字面を上にした接続端子に水平に差し込んでください。

2 外部接続端子キャップを開け（P.26）、FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01のmicroUSBプラグをFOMA端末の外部接続端子に水平に差し込む

・microUSBプラグは、刻印がある面を下にして水平に差し込んでください。

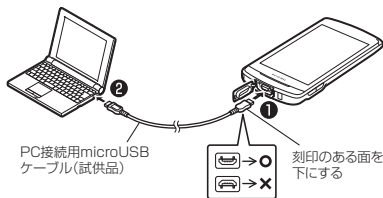
3 ACアダプタのプラグを電源コンセントに／DCアダプタのプラグを車のシガーライターソケットに差し込む

4 充電が終わったら、ACアダプタを電源コンセントから／DCアダプタを車のシガーライターソケットから取り外す

5 FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01の接続端子からACアダプタ／DCアダプタのコネクタを水平に取り外す

6 microUSBプラグをFOMA端末から水平に取り外し、外部接続端子キャップを閉じる（P.26）

PC接続用microUSBケーブルで充電する

FOMA端末とパソコンをPC接続用microUSBケーブル（試供品）で接続して、FOMA端末を充電することができます。

1. **外部接続端子キャップを開け（P.26）、PC接続用microUSBケーブルのmicroUSBプラグをFOMA端末の外部接続端子に水平に差し込む**
   - microUSBプラグは、刻印がある面を下にして水平に差し込んでください。
2. **PC接続用microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートに水平に差し込む**
3. **充電が終わったら、microUSBプラグをFOMA端末から水平に取り外し、外部接続端子キャップを閉じる（P.26）**
4. **USBプラグをパソコンのUSBポートから水平に取り外す**

おしらせ

- 充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、電池残量が90%以上になると緑色で点灯します。充電が完了すると消灯します。
- 電源が切れている状態から充電をはじめると、充電がはじまるまでに時間がかかる場合があります。

<ワイヤレスチャージャー>

- 安定した水平な場所にワイヤレスチャージャーを置いて充電してください。
- 電源プラグをコンセントに差し込んだ際や、FOMA端末をワイヤレスチャージャーに置いたり、取り除いた際に、ワイヤレスチャージャーから音がする場合がありますが異常ではありません。
- 一度に複数のFOMA端末を充電することはできません。
- チャージインフォメーションが点滅（約0.25秒間隔）したときは、ワイヤレスチャージャーとFOMA端末の間に異物がないか確認して、FOMA端末を正しく置き直したり、電源プラグをコンセントに差し込み直すなどしてください。
- ワイヤレスチャージャーがFOMA端末を認識しない場合は、充電エリアから取り外し、約2秒後にFOMA端末を充電エリアの中央に置き直してください。
- FOMA端末にカバーなどを装着していると、カバーなどの材質、厚みなどによって充電できない場合があります。確実に充電するには、カバーなどから取り出してください。
- 使用中にテレビやラジオなどに雑音が入る場合は、ワイヤレスチャージャーをテレビやラジオなどから、なるべく離れた場所でご使用ください。
- ワイヤレスチャージャーの周辺で電子機器を使用すると充電できない場合があります。電子機器を使用する場合はワイヤレスチャージャーから30cm以上離してご使用ください。
- 充電中はワイヤレスチャージャーとFOMA端末を動かさないでください。
- 充電中はFOMA端末のバイブレータを動作させないでください。振動によりFOMA端末の位置が動いたり、落下する恐れがあります。

おしらせ

- 市販の⊕マークのある製品で充電すると、充電中に着信しない場合があります。付属のワイヤレスチャージャー N01で充電してください。

<DCアダプタ>

- DCアダプタのヒューズは、2Aを使っています。万が一、ヒューズ（2A）が切れた場合は、指定のヒューズを必ずお使いください。また、ヒューズ（2A）は消耗品ですので、交換に際してはお近くのカー用品店などでお買い求めください。

<PC接続用microUSBケーブル>

- 充電中、ラジオなどに雑音が入るときは、PC接続用microUSBケーブルをラジオおよびアンテナなどから遠ざけてください。
- FOMA端末をPC接続用microUSBケーブルでパソコンと接続する場合は、使用を禁止された区域などでは行わないようご注意ください。

電源を入れる／切る

■電源を入れる

1 電源キーを2秒以上押す

- はじめて電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。→P.47
- ホーム画面が表示されます。→P.59

■電源を切る

1 電源キーを1秒以上押す▶「電源を切る」▶「OK」

スリープモードについて

電源キーを押したり、FOMA端末を一定時間操作しないと、ディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。

電源キーを押して、スリープモードを解除できます。

画面ロックについて

電源を入れたり、スリープモードを解除したときは、タッチパネルがロックされています。

🔒をタップすると、ロックが解除されます。

ご使用前の確認と設定

画面の表示方向を切り替える

本FOMA端末は、本体の縦／横の向きや傾きを感知して自動的にディスプレイの表示方向を切り替えます。

- 表示中の画面によっては、画面表示が切り替わらない場合もあります。
- ディスプレイが地面に対し垂直に近い状態で操作してください。地面に対し水平に近い状態になっていると、画面表示は切り替わりません。
- 通知パネルから自動回転をタップして、画面表示を自動で切り替わらないように設定できます。

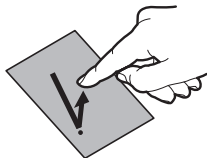
基本操作

本FOMA端末はタッチパネル（ディスプレイ）を指で直接触れて操作します。

■タッチパネル利用上の注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
  次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  ・手袋をしたままでの操作
  ・爪の先での操作
  ・異物を操作面にのせたままでの操作
  ・保護シートやシールなどを貼っての操作
  ・タッチパネルが濡れたままでの操作
  ・指が汗や水などで濡れた状態での操作
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶときは、スリープモードにした状態で持ち運んでください。スリープモードを解除した状態だと、誤動作を起こす原因となります。

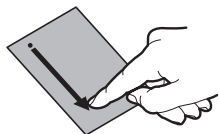
タップする

項目の選択や実行を行います。

タッチパネルに触れて、指を離します。

■ロングタッチ

タッチパネルに触れたままにすることで、メニューが表示される場合があります。

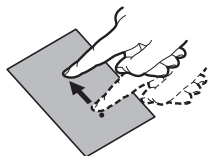
スライドする

表示したい方向に画面を上下左右にスクロールします。

タッチパネルに触れたまま、指を動かします。

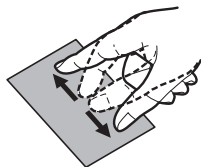
■ドラッグ

アイコンなどを指で触れたままスライドすることで、移動することができます。

フリックする

表示したい方向に画面をすばやくスクロールします。

すばやくスライドし指を離します。

2本の指の間隔を広げる／狭める

画面を拡大／縮小表示させます。

2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間隔を広げる／狭めるようにスライドします。

[≡][⌂][⤺]キーについて

[≡][⌂][⤺]キーでは主に以下の操作を行うことができます。

- [≡]：表示している画面で行えるメニューを表示します。検索や設定、削除など、表示している画面によって、メニューが表示されます。
- [⌂]：ホーム画面を表示することができます。機能を利用しているときにホーム画面に戻ることができます。また、ロングタッチすることで、タスク管理を行うことができます。
- [⤺]：一つ前の画面に戻ります。直前の画面に戻りたいときなどに利用します。

●電話の着信時や通話中、メール受信時などに、キーイルミネーション点灯させることができます。→P.91

初期設定

はじめて電源を入れたときの設定

FOMA端末の電源をはじめて入れたとき、以下の設定が必要になります。

1. 初期設定画面が表示されたら言語をタップ▶「次へ」
2. 表示内容を確認▶「次へ」
3. Googleのアカウントを設定する場合は「設定」
   - 画面に従ってGoogleアカウントの設定、データのバックアップを行い、「次へ」をタップします。
4. Googleの位置情報サービスを利用する場合は､チェックを入れる▶「同意する」▶「次へ」
5. GPS機能を利用する場合は、チェックを入れる▶「同意する」▶「次へ」
6. ソフトウェア更新に関する説明を確認▶「次へ」
7. ドコモサービスの初期設定画面が表示されたら「進む」
8. 表示内容を確認し、アプリ一括インストールを行う場合は「インストールする」のラジオボタンをタップ▶「進む」
9. おサイフケータイの初期設定を行う場合は「設定する」のラジオボタンをタップ▶「進む」
   - 画面に従っておサイフケータイの初期設定を行ってください。
10. ドコモアプリパスワードを設定する場合は「設定する」
    - 画面に従ってドコモアプリパスワードの設定を行ってください。
11. 位置提供設定の表示内容を確認し、設定する項目のラジオボタンをタップ▶「進む」
12. 「OK」

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

- お買い上げ時は、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

利用するアクセスポイントを設定する

1. ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」▶利用するアクセスポイントのラジオボタンをタップ

アクセスポイントを追加で設定する

1. ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」
2. [≡]▶「新しいAPN」
3. 「名前」▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶「OK」
4. 「APN」▶アクセスポイント名を入力▶「OK」
5. その他、通信事業者によって要求されている項目を入力
6. [≡]▶「保存」

おしらせ

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

- アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1. ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」
2. [≡]▶「初期設定にリセット」

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。

- spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。

- mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1. ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」
2. 「mopera U（スマートフォン定額）」／「mopera U設定」のラジオボタンをタップ

おしらせ

- 「mopera U（スマートフォン定額）」をご利用の場合、パケット定額サービスのご契約が必要です。mopera U（スマートフォン定額）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、mopera Uの初期設定画面および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

Wi-Fi設定

Wi-Fiは、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントを利用して、メールやインターネットを利用する機能です。

> **■Bluetooth機器との電波干渉について**
> Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
> - FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
> - 10m以内で使用する場合は、ワイヤレス接続するBluetooth機器の電源を切ってください。

Wi-FiをONにしてネットワークに接続する

1 ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

2 「Wi-Fi」にチェックを入れる

- 自動的にWi-Fiネットワークのスキャンが開始され、利用可能なWi-Fiネットワークの名称が一覧表示されます。

3 接続したいWi-Fiネットワークの名称をタップ

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続する場合は、接続に必要な情報を入力し、「接続」をタップしてください。

Wi-Fi簡単設定でWi-Fiネットワークに接続する

- アクセスポイント対応機器が「らくらく無線スタート」、「WPS」に対応している場合、アクセスポイントに接続するために必要なESSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定することができます。

1 ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

2 「Wi-Fi」にチェックを入れる

3 「Wi-Fi簡単設定」▶「らくらく無線スタート」／「WPS」

■らくらく無線スタートの場合

- アクセスポイントのPOWERランプが緑色に点滅するまで「らくらくスタート」ボタンを押し続けてください。
- アクセスポイントのPOWERランプがオレンジ色に点灯するまで、もう一度「らくらくスタート」ボタンを押し続けてください。
- ステータスバーに[Wi-Fiアイコン]が表示されたら、Wi-Fiネットワークを利用できます。

■WPSの場合

- 「プッシュボタン方式」：アクセスポイントの検索がはじまりますので、アクセスポイント本体またはアクセスポイントの設定画面のプッシュボタンを押してください。以降は画面の指示に従って操作を行います。
- 「PINコード入力方式」：アクセスポイントの検索がはじまります。以降は画面の指示に従って操作を行います。
  FOMA端末の画面に「PINコード」（WPS用PINコード）が表示されたら、その番号をアクセスポイントに登録してください。
- ステータスバーに[Wi-Fiアイコン]が表示されたら、Wi-Fiネットワークを利用できます。

・WPSを実施したアクセスポイントのセキュリティがWEP設定の場合、接続できません。

Wi-Fiネットワークを手動で追加する

- アクセスポイントの操作については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

1. ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」
2. 「Wi-Fi」にチェックを入れる
3. 「Wi-Fiネットワークを追加」
4. 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力し、セキュリティ（なし、WEP、WPA/WPA2 PSK、802.1x EAP）を選択
5. 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力▶「保存」

接続中のWi-Fiネットワークを切断する

1. ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」
2. 接続中のWi-Fiネットワークをタップ▶「切断」

おしらせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が高額になりますのでご注意ください。

メールのアカウントを設定する

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定すると、Eメールを利用できるようになります。

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1. アプリケーション一覧画面で「メール」

   ■アカウントを追加で設定する場合

   ▶[≡]▶「アカウント」▶[≡]▶「アカウントを追加」
2. メールアドレスとパスワードを入力▶「次へ」
   - ・プロバイダ情報がプリセットされているメールアカウントの場合は、送信／受信メールサーバーの設定が自動で行われます。
   - ・プロバイダ情報がプリセットされていないメールアカウントの場合は、手動で設定する必要があります。設定については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
3. アカウント名、ユーザー名を入力▶「完了」

Googleなどのアカウントを設定する

Googleのアカウントを設定することで、Gmailやマーケットを利用できるようになります。

1. ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「アカウントと同期」▶「アカウントを追加」
2. アカウントの種類をタップ
3. 画面に従ってアカウントを設定する

ステータスバーを利用する

ステータスバーには通知情報を示す通知アイコンとFOMA端末の状態を示すステータスアイコンが表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側にステータスアイコンが表示されます。

主なステータスアイコン

アイコン	説明
／／	要充電／電池残量／充電中
※	電波状態
※	国際ローミング中
	圏外
／※	3G通信中／使用可能
／※	GPRS通信中／使用可能
	機内モード設定中
※	Wi-Fi接続中
／	Bluetooth機能ON／対応機器接続中
	データ同期中
	おサイフケータイ ロック設定中
	ドコモminiUIMカード未挿入
	アラーム設定中
	通話中にスピーカーON
	マイクミュート設定中
／	マナーモード （バイブレーションON／OFF）
	ecoモードON （ecoが灰色：お好みecoモード ecoが水色：しっかりecoモード）
	GPS測位中
あ／ア／A／数／／	入力文字種（ひらがな／カタカナ／英文字／数字／絵文字・顔文字・記号・定型文・文字コード／T9入力）

※Googleのアカウントを設定している（同期している）場合は青色に、設定していない（同期していない）場合は灰色になります。

主な通知アイコン

アイコン	説明
	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着spモードメールあり
	新着SMSあり
	SMS送信失敗
	留守番電話あり
	新着インスタントメッセージあり
	エリアメールあり
	カレンダーの予定あり
	スケジュールの予定あり
	アラームがスヌーズ中
	メディアプレイヤー再生中
	セキュリティ設定「なし」のWi-Fiネットワークが存在する
	Bluetooth通信でファイル着信あり

アイコン	説明
	USB接続中
／	通話中／応答保留中
	不在着信あり
	データアップロード／送信
	データダウンロード／受信
	アプリケーションインストール完了
	インストール済みアプリケーションアップデートあり
	通知アイコンを表示しきれていないとき
	赤外線通信中
	ワンセグ視聴中
	ワンセグ録画中
	MEDIAS NAVIの更新あり
	ソフトウェア更新あり
	メジャーアップデート更新あり、更新中
	PC Link接続中
	PC Link利用可能
	PC Linkの確認メッセージあり
	USB PC Linkで接続中
	タップサーチ中
	エラー／警告メッセージあり
	本体に空き容量なし
	USBテザリング利用中
	Wi-Fiテザリング利用中
	USBテザリングとWi-Fiテザリング利用中
／	VPN（PPTP）接続中／切断

アイコン	説明
	VPN（IPSec／L2TP）接続中

通知パネルを利用する

通知アイコンが表示されたら、通知パネルを開いてメッセージや予定などの通知を確認できます。

1 ステータスバーを下にドラッグする

①タップサーチを利用します。→P.68
②アイコンをタップして、各機能の設定を切り替えます。

- ／：マナーモード（バイブレーションON／OFF）のON／OFF切替→P.91
- ：画面の自動回転のON／OFF切替→P.45
- ：ecoモードの切替→P.92
- ：GPS機能のON／OFF切替→P.125
- ：Bluetooth機能のON／OFF切替→P.84
- ：Wi-Fi機能のON／OFF切替→P.84
- ：明るさの切替→P.91

：アカウント自動同期のON／OFF切替
→P.96

③在圏する事業者名称が表示されます。
④サービスを提供する事業者名称が表示されます。
⑤タップするとチェックを入れた（⑦）通知情報とステータスバーの通知アイコンが消去されます。
⑥不在着信やダウンロードの完了などの情報が表示されます。
⑦消去したい通知にチェックを入れてから⑤をタップすると消したい通知アイコンを個別に消せます。

■通知パネルを閉じる

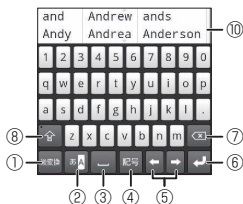
▶通知パネルの下部を上にドラッグ

文字入力

本FOMA端末では、ディスプレイに表示されるキーボードで文字を入力します。テキストボックスをタップすると、キーボードが表示され、文字が入力できます。

- キーボードには以下の2種類のキーボードがあります。

■QWERTYキーボード

パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語はローマ字で入力します。

■テンキーキーボード

携帯電話で一般的なキーボードです。

①		／：QWERTYキーボード／テンキーキーボードを切り替えます。 ♥ (^_^) #!?" 定型文 文字コード →P.56
	後変換	ひらがな／カナ／英字などに文字を変換します。
	カナ英数	テンキーキーボードのとき、カナ／英数などに文字を変換します。 半角／全角の切り替えもできます。
②	あA あA1 あア A1	入力する文字種を切り替えます。 ロングタッチするとATOKメニューが表示されます。 [ATOKメニュー] ・「ATOKの設定」：「文字入力に関する設定を行う」→P.57 ・「単語登録」：単語を登録します。登録した単語は文字変換時に利用できます。
③		空白を入力します。
	変換	入力文字の変換を行います。
④	記号	キーボードを記号入力に切り替えます。
⑤	／	カーソルを移動します。変換時は変換範囲を変更します。
⑥		改行の入力、入力文字を確定します。
	次へ	電話帳など次のテキスト入力欄があるときに、入力を完了し次の項目に移動します。
	実行	ウェブページや検索ワードの入力のときなどに、入力したテキストボックスの機能を実行します。
⑦		カーソル位置の左の文字を削除します。 テンキーキーボードでは「文字削除キー」（P.57）で右の文字を削除（CLR）にすることもできます。

⑧		1回タップすると次に入力する文字が大文字になり（ ）、2回タップすると大文字に固定します（ ）。一部記号も入力できます。
⑨		1つ前の文字を表示（逆順）します。
	戻す	1つ前の操作を取り消します。
⑩	-	文字入力時に予測候補が表示され、タップして文字を入力することができます。 ・左右にスライドすると、その他の変換候補を表示します。 ・上下にフリックすると、変換候補の表示枠が広がります。

テンキーキーボードの入力方式を選択する

テンキーキーボードで文字を入力するときの入力方式を選択します。

1 文字入力画面で あA／あA1／あア A1 をロングタッチ▶「ATOKの設定」▶「入力方式」

2 「ケータイ入力」／「ジェスチャー入力」／「フリック入力」／「T9入力」

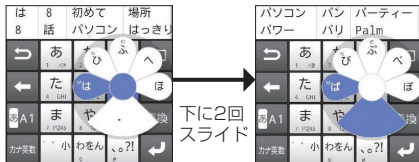
■ケータイ入力

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

■ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタップしたままにすると、キーのまわりにジェスチャーガイド（文字）が表示されます。タップした指をそのまま目的の文字までスライドします。

また、タップした指を下に1回または2回スライドすることで、濁音／半濁音／小文字のジェスチャーガイドを表示できます（英字入力時は、大文字／小文字を切り替えます）。

例：「ぱ」を入力する場合

■フリック入力
入力したい文字が割り当てられているキーをタップしたままにすると、キーの上にフリックガイド（文字）が表示されます。タップした指をそのまま目的の方向にフリックします。
また、フリック入力後゛゜小を1回または2回タップして、濁音／半濁音／小文字を入力できます。

■T9入力
入力したい文字が割り当てられているキーを1回ずつタップし、表示された予測候補の中から目的の文字を選択して入力します。
例：「春」を入力する場合
▶「は」「ら」とタップ

予測候補に「春」と表示されるのでタップします。
- 目的の文字が予測候補にないときは、読み編集をタップして、読みを入力します。
- 濁音／半濁音を入力する場合は、゛゜をタップします。
- 英語と日本語を切り替えるときは英語／日本語をタップします。
- 漢字かなをタップして、予測候補の表示を「漢字／かな」に切り替えることができます。

「変換」に「はる」の候補が表示されるので、「春」をタップします。「予測」には「はる」からの予測候補が表示されます。
- 変換範囲を変えたい場合は、←範囲／範囲→をタップします。

絵文字／顔文字／記号パレットで入力する

1 文字入力画面で「」

2 「♥」／「(^_^)」／「#!?"」
- キーボードに該当のパレットが表示されます。

■定型文／文字コードから入力する
▶「定型文」／「文字コード」

■電話帳のデータを引用する
▶「」▶「電話帳／ATOKダイレクト」▶電話帳をタップ▶引用したい項目にチェックを入れる▶「OK」

手書きで文字を入力する

●手書きで認識できる文字はひらがな、カタカナ、英字、数字です。

1 文字入力画面で「」▶「」

2 手書きで文字を入力する
- タブをタップして、入力する文字種を選択できます。

文字入力に関する設定を行う

キー操作時の操作音やバイブレーション、文字のサイズなど文字入力に関する設定を行います。

1. **文字入力画面で[あA]／[あA1]／[あア A1]をロングタッチ▶「ATOKの設定」**

2. **以下の項目から選択**

入力方式→P.55

入力補助

キー操作音……操作時に操作音が鳴るように設定します。

キー操作バイブ……操作時に振動するように設定します。

トグル入力……ジェスチャー入力、フリック入力時でもケータイ入力ができるように設定します。
「自動カーソル移動を行う」にチェックを入れると、入力方式がケータイ入力のときに、一定時間入力をしないと、カーソルを右に移動するように設定します。カーソルが移動するまでの早さも設定します。「ジェスチャー／フリック入力時にもケータイ入力を有効にする」にチェックを入れていると、ジェスチャー入力、フリック入力でも自動カーソル移動を行います。
自動カーソル移動の設定は「入力方式」の設定ごとに変更されます。

文字削除キー……文字削除時、カーソルの左の文字を削除（「バックスペース（[⌫]）」）するか、右の文字を削除（「クリア（[CLR]）」）するかを設定します。

数字テンキー……テンキーキーボードのとき、数字のキーボードを利用するかしないかを設定します。

ジェスチャーガイド……ジェスチャー入力時にジェスチャーガイドを表示するかどうかを設定します。チェックを入れるとガイドが表示され、ガイドが表示されるまでの時間を設定できます。

フリックガイド……フリック入力時にフリックガイドを表示するかどうかを設定します。

フリック感度……フリック入力で文字を打つときの文字選択の感度を設定します。

修飾キーフリック……フリック入力時に濁音／半濁音を、[゛゜小]のフリック操作で入力できるように設定します。

切り替え時は英字……テンキーキーボードからQWERTYキーボードに切り替えたときに、英字になるように設定します。

英字は確定入力……英字で文字を入力するときに、文字を確定した状態で入力するように設定します。

数字キー表示（縦画面）……縦画面でQWERTYキーボードを表示するときに、数字キーを表示するように設定します。非表示にした場合はフリック操作で数字などを入力します。

数字キー表示（横画面）……横画面でQWERTYキーボードを表示するときに、数字キーを表示するように設定します。非表示にした場合はフリック操作で数字などを入力します。

スペースは半角で出力……日本語入力時にもスペースを半角で入力するように設定します。

自動スペース入力……英字入力時に単語を確定すると自動的にスペースを挿入するように設定します。

文字削除フリック……［⌫］／［CLR］を上や左にフリックしたときに、文字をまとめて削除する機能を有効にするかどうかを設定します。

自動全画面化（横画面）……横画面のとき、文字入力欄を自動的に全画面表示にするかどうかを設定します。

変換・候補

推測変換……文字入力時に推測候補を表示するよう設定します。

未入力時の推測候補表示……入力を確定（変換）した文字に続く単語を推測して、候補を表示するように設定します。推測変換にチェックが入っている場合に選択できます。

学習データの初期化……学習データ、絵文字・顔文字・記号入力パネルの履歴を初期化します。

ユーザー辞書・定型文

辞書ユーティリティ……ユーザー登録単語データの管理をします。

定型文ユーティリティ……ユーザー定型文データの管理をします。絵文字に対応していないテキストボックスでは、絵文字を使用している定型文は表示されません。

画面・表示

テーマ……キーボードのデザインを設定します。

キーサイズ……キーボードのサイズを設定します。

文字サイズ……変換候補の文字サイズを設定します。

表示行数（縦画面）……縦画面表示での変換候補の表示される行数を設定します。

表示行数（横画面）……横画面表示での変換候補の表示される行数を設定します。

設定の初期化→P.58

日本語入力システム ATOK……ATOKのバージョン情報を表示します。

文字入力の設定を初期化する

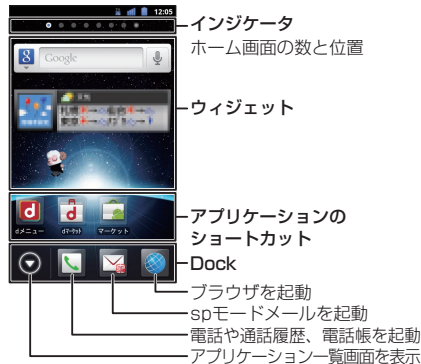
「ATOKの設定」をお買い上げ時の状態に戻します。

1 文字入力画面で［あA］／［あA1］／［あア A1］をロングタッチ▶「ATOKの設定」▶「設定の初期化」▶「OK」

おしらせ

- 学習データや追加したユーザー辞書の単語、定型文は初期化されません。

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面で、[⌂]をタップして呼び出すことができます。

画面をスライドすることで、ホーム画面を左右にページ移動することができます。

「ひつじのしつじくん®」

ホーム画面を管理する

お買い上げ時、ホーム画面には「docomo Palette UI」が設定されています。ホーム画面では、アプリケーションのショートカットを追加したり、フォルダを作成することができます。

アプリケーションのショートカットをホーム画面に追加する

1 ホーム画面をロングタッチ

2 「ショートカット」

■ウィジェットを追加する
▶「ウィジェット」

■アプリケーションのグループ（P.62）を追加する
▶「グループ」▶追加したいグループをタップ

3 追加したいアプリケーションをタップ

・ホーム画面にアプリケーションのショートカットが追加されます。

ショートカットを移動する

1 ホーム画面で移動したいショートカットをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグし、指を離す

・他のページにショートカットを移動するときは、画面の右端または左端にショートカットをドラッグすると、ホーム画面が左右にページ移動します。

Dockを設定する

1 ホーム画面で追加したいショートカットをロングタッチ

2 移動したいDockの位置までドラッグし、指を離す

・ドラッグ先のアイコンと入れ替わります。

おしらせ

● ◎は入れ替えできません。

ショートカットを削除する

1 削除したいショートカットをロングタッチ

2 画面下部のゴミ箱アイコンまでドラッグし、指を離す

・ロングタッチした後、「削除」をタップしても削除できます。

フォルダをホーム画面に作成する

1 ホーム画面をロングタッチ

2 「フォルダ」

3 作成するフォルダの種類をタップ

フォルダにショートカットを追加する

● フォルダの種類が「新しいフォルダ」でのみ追加できます。

1 フォルダに追加したいショートカットをロングタッチ

2 ショートカットを追加したいフォルダまでドラッグし、指を離す

・フォルダをタップすると、フォルダが開き、そこからショートカットを選択できるようになります。

フォルダの名前を変更する

1 名前を変更したいフォルダをタップ

2 タイトルをロングタッチ

3 タイトルを入力▶「OK」

ホーム画面を切り替える

❶ アプリケーション一覧画面で「ホーム切替」▶「設定変更」▶「設定を消去」▶ ⌂ ▶「常にこのアプリを使用する」にチェックを入れる▶切り替えたいホームアプリをタップ

きせかえを利用する

❶ ホーム画面で ≡ ▶「きせかえ／壁紙」

❷「きせかえ」▶設定したいきせかえをスライドして選択▶「設定する」

■壁紙を変更する

▶「壁紙」▶「ギャラリー」／「ライブ壁紙」／「壁紙」／「壁紙ギャラリー」▶設定したい画像をタップ▶「壁紙に設定」

- 「ギャラリー」を選択した場合は、壁紙に設定したい画像を選んで、壁紙として使用する箇所を、トリミング枠をドラッグして指定します。「保存」をタップすると、壁紙として設定されます。
- 「ライブ壁紙」を選択した場合は、壁紙の種類によっては「設定」をタップして、壁紙の設定を行うことができます。

ホーム画面を追加する

❶ ホーム画面で ≡ ▶「ホーム画面一覧」

- ホーム画面のサムネイルが表示されます。

❷「+」

- ホーム画面は11画面まで追加できます。

■ホーム画面を削除する

▶削除したいホーム画面のサムネイルをロングタッチ▶画面下部のゴミ箱アイコンまでドラッグし、指を離す

■ホーム画面を並べ替える

▶並べ替えたいホーム画面のサムネイルをロングタッチ▶移動させたい場所にドラッグし、指を離す

アプリケーション一覧画面

アプリケーション一覧画面では、FOMA端末にインストールされているアプリケーションを、グループ別に表示します。

❶ ホーム画面で「◎」

■リスト形式に切り替える

▶ ≡ ▶「リスト形式」

- リスト形式のときに ≡ ▶「タイル形式」でタイル形式に切り替わります。

グループを編集する

グループ名を変更する

❶ アプリケーション一覧画面で変更したいグループをロングタッチ

❷「名称変更」▶グループ名を入力▶「OK」

■ラベルを変更する

▶「ラベル変更」▶色をタップ

■グループを削除する

▶「削除」▶「OK」

グループを追加する

❶ アプリケーション一覧画面で ≡

❷「グループ追加」

❸ グループ名を入力▶「OK」

グループを並べ替える

❶ アプリケーション一覧画面で並べ替えたいグループをロングタッチ

❷ 移動させたい場所にドラッグし、指を離す

グループのショートカットをホーム画面に追加する

1 アプリケーション一覧画面で追加したいグループをロングタッチ▶「ホームへ追加」

おしらせ

- 「最近使ったアプリ」は、直前に利用したアプリケーション8項目を自動表示します。
- 「最近使ったアプリ」「ドコモサービス」「ダウンロードアプリ」はグループ名の変更および削除はできません。

アプリケーションを編集する

アプリケーションを並べ替える

1 アプリケーション一覧画面で並べ替えたいアプリケーションをロングタッチ

2 移動させたい場所にドラッグし、指を離す

アプリケーションをアンインストールする

1 アプリケーション一覧画面でアンインストールしたいアプリケーションをロングタッチ▶「アンインストール」▶「OK」▶「OK」

アプリケーションのショートカットをホーム画面に追加する

1 アプリケーション一覧画面で追加したいアプリケーションをロングタッチ▶「ホームへ追加」

アプリケーション一覧

	アプリケーション	説明
	あんしんスキャン	端末をウイルス被害から守るアプリです。インストールしたアプリやmicroSDメモリカードなどに潜むウイルスを検出します。
	あんしんモードアプリ	お子さまでもあんしんしてFOMA端末をご利用いただけるよう、アプリのインストールやアプリの起動、通話の発着信、Wi-Fi経由のインターネットアクセスなどを制限するアプリです。
	エリアメール	緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリです。→P.107
	オートGPS	お客様の居場所に合わせて、天気情報やお店などの周辺情報、観光情報などをお知らせするオートGPS対応サービスをご利用になるためのアプリです。
	おサイフケータイ	→P.132
	音楽	ミュージックプレイヤーを利用して、microSDカードに保存した音楽を再生します。
	音声検索	音声を認識し、ブラウザでGoogle検索を行います。
	カメラ	→P.117
	カレンダー	→P.135
	ギャラリー	→P.119

アプリケーション		説明
	検索	→P.68
	声の宅配便	「声の宅配便」をスマートフォンでも簡単・便利に利用するためのアプリです。声のメッセージを簡単な操作で録音・再生することができます。→P.77
	災害用キット	災害用伝言板にメッセージの登録や確認などができるアプリです。
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリです。→P.136
	赤外線	電話帳などのデータを赤外線通信により送受信できるアプリです。→P.113
	設定	→P.84
	地図アプリ	地図・お店や施設検索・ナビ・乗換・訪れた街などの機能でおでかけをサポートします。
	ついっぷる	ついっぷるを利用し、Twitterを簡単に利用できます。
	テレビ	→P.128
	電卓	→P.137
	電話	→P.70
	電話帳	→P.74
	電話帳 コピーツール	microSDカードなどの外部記録媒体を利用して電話帳データの移行やコピーができるアプリです。→P.76
	トーク	→P.108
	時計	→P.134
	ドコモ位置情報	イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービス、緊急通報位置通知にて位置情報を提供するためのアプリです。また、各種設定変更や設定サイト・サービスサイトへのアクセスができます。
	ドコモ海外利用	海外でのパケット通信利用をサポートするアプリです。データローミング設定や海外パケ・ホーダイを利用する際の対象事業者設定を簡単に行うことができます。
	ドコモ バックアップ	電話帳などのデータをバックアップしたり、復元できるアプリです。
	取扱説明書	本FOMA端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
	トルカ	トルカの取得・表示・検索・更新などができます。→P.134
	ナビ	→P.127
	ブラウザ	→P.109
	プレイス	→P.127
	ホーム切替	ホームアプリを切り替えるためのアプリです。→P.61

アプリケーション		説明
	マーケット	→P.122
	マチキャラ	端末の画面にキャラクターを表示させるアプリです。キャラクターはウィジェット上で動き、メール受信や着信などの情報をお知らせします。
	マップ	→P.126
	メール	→P.103
	名刺作成	「電話帳」アプリ内のマイプロフィール欄に表示するオリジナルの名刺を作成するためのアプリです。→P.75
	メッセージ	→P.101
	メディアプレイヤー	音楽や動画を再生することができるアプリです。→P.120
	メモ	メモを作成・管理できるアプリです。→P.137
	BEAUTY	→P.138
	BOOKストアマイ本棚	dマーケットBOOKストアで購入した電子書籍を閲覧するためのアプリです。
	Days	メールや通話の履歴、SNS情報から自動的に日記を作成し、閲覧することができます。

アプリケーション		説明
	dマーケット	dマーケットを起動するアプリです。dマーケットでは、音楽や動画、書籍などのコンテンツを購入することができます。また、Androidマーケット上のアプリを紹介しています。
	dメニュー	ｉモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「dメニュー」へのショートカットアプリです。
	Gmail	→P.104
	G-SHOCK App	BLE（Bluetooth Low Energy）対応のG-SHOCKとFOMA端末を、Bluetooth通信を利用して接続すると、電話着信やメール受信など、FOMA端末の情報をG-SHOCKにお知らせしたり、FOMA端末の時計と同期することができます。そのときに、どのような情報をお知らせするかなどの設定を行います。→P.87
	Gガイド番組表	地上波テレビやBSデジタル放送の番組表が閲覧できるアプリです。キーワードやジャンルによる番組検索や、ワンセグの視聴・録画予約、外出先からの遠隔録画も可能です。→P.130
	iD設定アプリ	電子マネーiDを利用するための設定を行うアプリです。→P.138

アプリケーション		説明
	ｉチャネル	ｉチャネルを利用するためのアプリです。
	Latitude	→P.127
	MEDIAS NAVI	メーカーサイト「MEDIAS NAVI」に接続します。
	Quickoffice	→P.137
	spモードメール	ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。→P.101
	Topics	ついっぷるトレンドから世間で盛り上がっている話題、SNSのサイトから仲間で盛り上がっている話題を自動的に収集して、閲覧することができます。
	Twonky Special	FOMA端末と家電をつなげるアプリです。FOMA端末内やインターネット上の動画・写真・音楽をテレビやオーディオにワイヤレス再生することができます。
	WELLNESS	シェイプアップや健康管理をナビゲートします。自分の好みに合わせてトレーニングやレコーディングが選べ、楽しく健康管理が続けられます。
	YouTube	YouTubeの動画を再生／アップロードできます。

ウィジェット一覧

ホーム画面にウィジェットを貼り付けることで、以下の機能を利用することができます。

ウィジェット		説明
	一括設定（外出）	あらかじめ設定しておいた設定内容（外出設定）にワンタッチで一括変更することができます。
	一括設定（自宅）	あらかじめ設定しておいた設定内容（自宅設定）にワンタッチで一括変更することができます。
	一括設定（就寝）	あらかじめ設定しておいた設定内容（就寝設定）にワンタッチで一括変更することができます。
	音楽（小）	簡易的なミュージックの操作パネルを表示することができます。
	音楽（大）	ジャケット画像などを含めたミュージックの操作パネルを表示することができます。
	カレンダー（近日中の予定）	カレンダーに登録してある近日中の予定が表示されます。
	カレンダー（小）	小さいサイズのカレンダーを貼り付けます。
	カレンダー（大）	大きいサイズのカレンダーを貼り付けます。
	検索	検索ボックスを貼り付けます。→P.68
	写真フレーム	画像を貼り付けます。
	渋滞状況	目的地までの渋滞状況を表示します。

ウィジェット		説明
	スケジュール＆メモ	カレンダーを表示し、スケジュールやメモを確認できます。
	ソラダスお天気予報（小）	当日の天気予報を表示するウィジェットです。
	ソラダスお天気予報（大）	明々後日までの天気予報を表示するウィジェットです。
	電話帳ピックアップメンバー	電話帳に登録している相手を、ピックアップして表示します。
	時計（2都市表示）	現在地の時間と指定した都市の時間が表示されます。
	時計（アナログ）	アナログ時計を貼り付けます。
	時計（デジタル）	デジタル時計を貼り付けます。
	ドコモ位置情報	ドコモ位置情報の位置提供設定、位置提供履歴を表示します。
	ドコモ地図ナビウィジェット	現在地周辺の地図や、周辺情報を表示します。
	パーソナルエリア	マイプロフィールやマイメニューなどの情報を表示します。
	プレイス	近くのお店の情報を表示することができます。
	歩数計	歩数計を利用することができます。
	マーケット	Androidマーケットの情報を表示することができます。
	マチキャラ	端末の画面にキャラクターを表示させるアプリです。キャラクターはウィジェット上で動き、メール受信や着信などの情報をお知らせします。
	BEAUTY	MEDIAS BEAUTYのアプリを起動します。
	Contents Headline	ドコモストアのコンテンツを表示します。
	Days	Daysの情報を表示することができます。
	Flashlight	ライトを点灯させることができます。
	iチャネルウィジェット	iチャネルの情報を取得して表示するウィジェットです。
	Latitude	Latitudeの情報を表示することができます。
	Topics	Topicsの情報を表示することができます。
	YouTube	YouTubeで検索、閲覧することができます。

おしらせ

- 一部のアプリケーション／ウィジェットの使用には、別途お申し込み(有料)が必要となるものがございます。
- ソフトウェア更新やメジャーアップデートを行うと、アプリケーション／ウィジェットの内容やアイコンの位置が変わることがあります。

検索機能を使う

FOMA端末内の電話帳やアプリケーションを検索したり、ウェブ検索をすることができます。

●検索の設定について→P.98

1 アプリケーション一覧画面で「検索」

2 「 」▶検索対象をタップ

3 検索する文字を入力▶「実行」

・検索結果が表示されます。
・検索する文字を入力すると、検索候補が表示されます。検索候補を選択して検索を実行することができます。
・検索候補からアプリケーションをタップすると、アプリケーションが起動します。

■音声で検索する

▶「 」▶マイクに向かって検索語をはっきりと発声する

・検索対象によってはご利用になれません。

タップサーチを利用する

画面上に検索したい文字がある場合に、文字をタップすることで検索を行うことができます。

1 通知パネルを開いて「 」

2 画面上の検索したい文字をタップ

・認識された文字がマーカー表示されます。 ／ をドラッグして検索する文字を調整できます。
・ロングタッチすると拡大表示されます。

3 「 」▶「実行」

・テキストボックスをタップして、文字を編集して検索できます。

おしらせ

●タップサーチの文字認識条件は以下のとおりです。
・認識可能な文字種類：漢字・ひらがな・英字・カタカナ・数字・記号（白背景に黒文字推奨）
・推奨文字サイズ：20〜40ドット

●アプリケーションによってはタップサーチモードにすると、画面を正しく表示できないことがあります。

タスク管理

起動中のアプリケーションを表示し、操作画面に切り替えることができます。また、不要なアプリケーションを終了させることもできます。

1 ⌂ をロングタッチ

・起動中のアプリケーションが表示されます。

■アプリケーションを終了する

▶「×」

■すべてのアプリケーションを終了する

▶「全てのアプリを終了する」▶「はい」

2 表示したいアプリケーションをタップ

おしらせ

●複数のアプリケーションが同時に起動していると、電池の消耗が早くなる他、端末が不安定になりアプリケーションが強制終了したり、動作速度が低下することがあります。

ホームアプリの情報を確認する

❶ ホーム画面で［≡］▶「その他」

■バージョン情報を確認する

▶「アプリケーション情報」

■ホームアプリの設定を確認する

▶「ホーム設定」

電話／ネットワークサービス

電話をかける／受ける

電話をかける

1 アプリケーション一覧画面で「電話」▶「ダイヤル」

・「お気に入り」をタップすると、電話帳でお気に入りに登録した電話帳のみ表示します。→P.75

2 電話番号を入力

・電話番号の入力を間違えた場合は、[⌫]をタップして入力した番号を消去します。
・電話番号の前に「186」／「184」を付けると、その発信に限り番号通知／番号非通知で発信します。

■声の宅配便（P.77）を利用する

▶「声の宅配便」

3「**」**

4 通話が終了したら「📞」

おしらせ

●「＊」をロングタッチするとプッシュ信号（ポーズ）が入力できます。

■緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

●本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。
なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

●FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。

●かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

おしらせ

- PIN1コード入力設定を有効に設定している場合、機内モード中に緊急通報をする際は、PIN1コードを入力する操作が必要となります。
- 画面ロックを設定している場合、解除パターン入力画面やロックNo入力画面ではパスワードの入力を行わなくても緊急通報は可能です。それぞれの入力画面で「緊急通報」をタップしてください。「緊急通報」画面が表示され、緊急電話番号にだけ電話をかけることができます。
- 日本国内では、ドコモminiUIMカードを取り付けていない場合、緊急通報110番／119番／118番に接続できません。
- 日本国内では、電源ON時のPINコード入力画面から「緊急通報」をタップしても、緊急通報110番／119番／118番に接続できません。PINコードについて詳しくは「FOMA端末で利用する暗証番号」（P.94）を参照してください。

国際電話をかける（WORLD CALL）

WORLD CALLは、ドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- WORLD CALLについて詳しくは、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

1. **アプリケーション一覧画面で「電話」▶「ダイヤル」**
2. **「0」をロングタッチ**
   - 「+」が表示されます。
3. **国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順に入力▶「 」**

おしらせ

- 地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら「操作開始」▶「通話」

■着信を拒否する

▶「操作開始」▶「拒否」

■応答を保留にする

▶［≡］▶「応答保留」

・電話がつながった状態のまま保留します。

2 通話が終了したら「」

おしらせ

- 応答保留中でも通話料金がかかります。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに着信を拒否すると、留守番電話サービスセンターまたは指定した転送先へ着信を転送します。

通話中の操作

①通話の保留／保留解除をします。
②通話を保留にして、別の相手に電話をかけます。→P.81
③ダイヤルボタンを表示します。
④Bluetooth機能を利用します。タップするたびにON／OFFが切り替わります。ヘッドセットやハンズフリーに対応したBluetooth機器と接続しているときに利用できます。
⑤自分の声を相手に聞こえないようにします。タップするたびにON／OFFが切り替わります。
⑥相手の声をスピーカーから流します。タップするたびにON／OFFが切り替わります。

■通話音量を調整する

▶ボリュームキーを押す

通話履歴

電話の発着信履歴を確認できます。

1 **アプリケーション一覧画面で「電話」▶「発着信リスト」▶「着信履歴」／「発信履歴」**

①履歴アイコンが表示されます。
 ：発信した履歴
 ：着信した履歴
 ：不在着信履歴
②発信や着信をした相手の名前などが表示されます。
③以下のアイコンが表示されます。
 ：通知なし指定以外の発信
 ：通知なし発信
 ：国際電話発信
 ：国際電話着信
 ：声の宅配便発信
④電話を発信します。
⑤同じ相手との履歴が連続している場合、まとめて表示され、 になります。括弧内の数字は履歴件数です。

■通話履歴の電話番号を電話帳に登録する

▶登録したい履歴をロングタッチ▶「電話帳に登録」▶「新規登録」▶必要な項目を入力▶「登録完了」
- 複数のアカウントを登録している場合は、登録するアカウントを選択します。
- すでに登録されている電話帳に登録する場合は、電話帳を選択します。

■履歴を削除する

▶[≡]▶「全件削除」▶「OK」
- 個別に削除したい場合は、削除したい履歴をロングタッチして、「通話履歴から消去」をタップします。

電話帳

電話帳には電話番号、Eメールアドレスなどを登録できます。

❶ アプリケーション一覧画面で「電話帳」

電話帳画面

①他の人とやりとりした履歴を表示します。
②電話帳画面を表示します。
③自分のプロフィール（マイプロフィール）を表示します。
④電話帳の詳細（プロフィール）を表示します。→P.75
- 画像をタップして表示されたアイコンをタップし、電話をかけたり、メールを作成することができます。

⑤50音が表示され、タップした50音にジャンプできます。
⑥電話帳をグループごとに表示します。
⑦電話帳を新規登録します。
- 名前、電話番号、メールアドレスなど、必要な項目を入力して「登録完了」をタップします。
- 複数のアカウントを登録している場合は、登録するアカウントを選択します。

⑧キーワードを入力して、電話帳を検索します。
- ▦をタップして、グループを絞り込んで検索できます。

■電話帳を削除する

▶［≡］▶「削除」▶削除したい電話帳にチェックを入れる▶「削除」▶「OK」

■電話帳をmicroSDカードにインポート／エクスポート、ドコモminiUIMカードからインポートする

▶［≡］▶「その他」▶「インポート／エクスポート」▶以下の項目から選択

SIMカードからインポート……ドコモminiUIMカードからFOMA端末に電話帳を読み込みます。

SDカードからインポート……microSDカードからFOMA端末に電話帳を読み込みます。

SDカードにエクスポート……FOMA端末からmicroSDカードに電話帳を保存します。

表示可能な電話帳を共有……表示可能なすべての電話帳を、Bluetooth通信やメールで送信します。

プロフィール画面を表示する

1 電話帳画面で表示したい相手の名前をタップ

・自分のプロフィールを表示する場合は「マイプロフィール」をタップします。

プロフィール画面

①画像と名前を表示します。
- 画像をタップして表示されたアイコンをタップし、電話をかけたり、メールを作成することができます。

②プロフィールを編集します。
③プロフィール画面を表示します。
④やりとりの履歴を表示します。
⑤グループを表示します。
⑥お気に入りに登録します。→P.70
⑦プロフィールを表示します。
- 表示項目は、登録内容によって異なります。
- 登録内容によっては、項目、アイコンをタップすることで、電話発信、EメールやSMSの送信、Googleマップの起動などが使用できます。

おしらせ

● 同じ電話帳（同じ名前やフリガナなど）が複数登録されている場合など、複数の電話帳データを1つにまとめる（統合する）ことができます（名前の横に[アイコン]が表示されます）。
プロフィール画面で[≡]▶「統合／分割」▶統合する電話帳をタップ
統合を解除したいときは以下の操作を行ってください。
プロフィール画面で[≡]▶「統合／分割」▶「分割」

名刺を利用する

「名刺作成アプリ」で名刺を作成し、他の人とネットワーク経由で名刺を交換することができます。名刺はプロフィール画面で確認することができます。

フリックで表示する名刺を選択できます。
名刺を拡大／縮小表示します。
名刺を交換します。
名刺を削除します。
「名刺作成アプリ」を起動して名刺を新規作成／編集します。

電話帳コピーツール

microSDカードを利用して、他のFOMA端末との間で電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。

❶ アプリケーション一覧画面で「電話帳コピーツール」

・はじめてご利用される際には、「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

■docomoアカウントに保存されている電話帳をmicroSDカードにエクスポートする

▶「エクスポート」▶「開始」▶「OK」

■電話帳をmicroSDカードからdocomoアカウントにインポートする

▶「インポート」▶インポートする電話帳をタップ▶「上書き」/「追加」▶「OK」

■Googleアカウントの電話帳をdocomoアカウントにコピーする

▶「docomoアカウントへコピー」▶コピーするGoogleアカウントをタップ▶「上書き」/「追加」▶「OK」

おしらせ

- 他のFOMA端末の電話帳項目名(電話番号など)が本FOMA端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字はFOMA端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにエクスポートする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- 電話帳をmicroSDカードからインポートする場合、「一括バックアップ」で作成したファイルは読み込むことができません。

利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名称	お申し込み	月額使用料
声の宅配便	不要	無料
留守番電話サービス	要	有料
転送でんわサービス	要	無料
キャッチホン	要	有料
発信者番号通知サービス	不要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料
着信通知	不要	無料
英語ガイダンス	不要	無料
公共モード(電源OFF)	不要	無料

- サービスエリア外や電波の届かない所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 「停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- お申し込み、お問い合わせについては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 本書では各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。

ネットワークサービスを利用する

1. ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「通話設定」▶「ネットワークサービス」
2. 以下の項目から選択

声の宅配便→P.77

留守番電話サービス→P.78

転送でんわサービス→P.80

キャッチホン→P.81

発信者番号通知→P.82

迷惑電話ストップサービス→P.82

番号通知お願いサービス……電話番号を通知してこない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。ガイダンス応答後は自動的に電話を終了します。

通話中着信設定……通話中に別の電話がかかってきたとき、着信したことをお知らせします。キャッチホンを利用している場合、本機能の設定は不要です。

着信通知……電源が入っていないときや圏外にいたとき、通話中に着信があった場合、着信の情報をSMSでお知らせします。

英語ガイダンス……留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

遠隔操作設定……留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

公共モード（電源OFF）設定→P.83

声の宅配便

電話でメッセージを録音し、相手にお客様の声を届けるサービスです。

- メッセージは1件あたり最長15分、最大500件録音でき、最長720時間保存されます。また、大切なメッセージを最大5件保護することもできます（保護を解除すると、720時間経過後に自動的に消去されます）。
- 声の宅配便の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■声の宅配便サービスの基本的な流れ

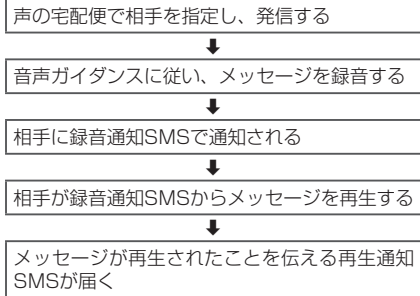
声の宅配便で相手を指定し、発信する

音声ガイダンスに従い、メッセージを録音する

相手に録音通知SMSで通知される

相手が録音通知SMSからメッセージを再生する

⬇

メッセージが再生されたことを伝える再生通知SMSが届く

声の宅配便を利用する

1 **ホーム画面で［≡］▶「本体設定」▶「通話設定」▶「ネットワークサービス」▶「声の宅配便」**

2 **以下の項目から選択**

サービス利用（アプリ起動）……声の宅配便のアプリケーションを起動します。

設定確認・変更（サイト接続）……声の宅配便のサイトに接続します。

設定確認・変更（音声発信）……メッセージを録音し、相手にメッセージがあることをSMSで通知します。

おしらせ

- メッセージの録音、再生には通話料金がかかります。
- 声の宅配便は、海外からはご利用できません。

留守番電話サービス

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メッセージは1件あたり約3分間、20件まで録音でき、最大72時間保存されます。
- 留守番電話サービス開始後、かかってきた電話に応答しなかった場合は、「通話履歴」には「不在着信」として記録され、ステータスバーにが表示されます。
- 伝言メッセージが録音されると、ステータスバーに（数字は伝言メッセージの数）が表示されます。
- 本FOMA端末は、テレビ電話の留守番電話サービスに対応しておりません。「1412」へ音声発信し、テレビ電話を「非対応」に設定してください。

■留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始に設定する

↓

お客様のFOMA端末に電話がかかる

↓

電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される

↓

相手が伝言メッセージを録音する

急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略してメッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに「#」を入力すると、すぐに録音できる状態になります。

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることが通知される

↓

伝言メッセージを再生する

留守番電話サービスを利用する

1 ホーム画面で［≡］▶「本体設定」▶「通話設定」▶「ネットワークサービス」▶「留守番電話サービス」

2 以下の項目から選択

サービス開始……留守番電話サービスを開始します。呼出時間も設定します。

呼出時間設定……留守番電話サービスに接続するまでの時間を設定します。
呼出時間を0秒に設定した場合、かかってきた電話は通話履歴には記憶されず、直接留守番電話サービスセンターへつながります。

サービス停止……留守番電話サービスを停止します。

設定確認……現在の設定内容を確認します。

メッセージ再生……留守番電話サービスセンターに接続し、音声ガイダンスに従って伝言メッセージを再生します。

設定……留守番電話サービスセンターに接続し、音声ガイダンスに従って留守番電話サービスの設定を変更します。

メッセージ問合せ……伝言メッセージがあるかどうかを確認します。

件数増加鳴動設定……新しい伝言メッセージをお預かりしたときに通知するかどうかを設定します。

おしらせ

- 「設定」、「メッセージ問合せ」の操作をしたときや伝言メッセージが録音されたときは、「NTT DOCOMO：VM：XX」というSMSが受信されます。

転送でんわサービス

電波の届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、電話を転送するサービスです。

- 転送でんわサービス開始後、かかってきた電話に応答しなかった場合は、不在着信として履歴に記憶され、ステータスバーにが表示されます。

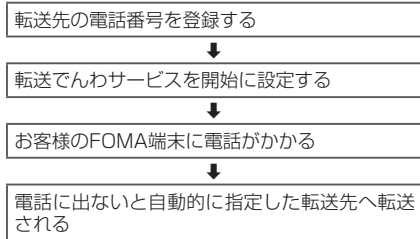
■転送でんわサービスの基本的な流れ

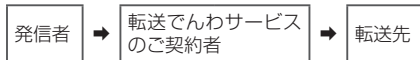
転送先の電話番号を登録する

↓

転送でんわサービスを開始に設定する

お客様のFOMA端末に電話がかかる

電話に出ないと自動的に指定した転送先へ転送される

■転送でんわサービスの通話料

発信者 ➡ 転送でんわサービスのご契約者 ➡ 転送先

発信者に通話料がかかります。

転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。

転送でんわサービスを利用する

1 ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「通話設定」▶「ネットワークサービス」▶「転送でんわサービス」

2 以下の項目から選択

サービス開始……転送先の電話番号と呼出時間を設定し、転送でんわサービスを開始します。呼出時間を0秒に設定した場合、かかってきた電話は通話履歴には記憶されず、直接電話を転送します。

サービス停止……転送でんわサービスを停止します。

転送先変更……転送先の電話番号を変更します。

転送先通話中時設定※……転送先が通話中のときに、かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続するかどうかを設定します。

ガイダンス設定……電話を転送するとき、電話をかけてきた相手に、転送ガイダンスを流すかどうかを設定します。

設定確認……現在の設定内容を確認します。

※「留守番電話サービス」のご契約が必要です。

キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

キャッチホンを設定する

1. ホーム画面で［≡］▶「本体設定」▶「通話設定」▶「ネットワークサービス」▶「キャッチホン」
2. 以下の項目から選択

サービス開始……キャッチホンを開始します。	
サービス停止……キャッチホンを停止します。	
設定確認……現在の設定内容を確認します。	

おしらせ

●通話保留中も発信者の方に通話料金がかかります。

通話を保留にして、かかってきた電話に出る

1. 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら「操作開始」▶「通話」
   - 最初の相手との通話を保留にして、かかってきた電話に応答します。

   ■かかってきた電話を拒否する

   ▶「操作開始」▶「拒否」
2. 通話が終了したら「 」
   - 後からかかってきた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■通話を保留にして、通話を切り替える

▶「 」

- 「 」をタップするたびに通話相手が切り替わります。

通話を保留にして、別の相手に電話をかける

1. 通話中に「 」
2. 相手の電話番号を入力▶「 」
   - 最初の相手との通話を保留にして、電話をかけた相手との通話に切り替わります。
3. 通話が終了したら「 」
   - 新しくかけた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

発信者番号通知サービス

電話をかけたとき、自分の電話番号を相手の電話機に表示させることができます。

- ●電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。

❶ ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「通話設定」▶「ネットワークサービス」▶「発信者番号通知」

❷ 以下の項目から選択

設定……通知するかどうかを設定します。

設定確認……現在の設定内容を確認します。

おしらせ

- ●本機能は相手の電話機が発信者番号表示が可能なときだけ有効です。
- ●発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか「186」を付けてからおかけ直しください。

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- ●着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、通話履歴にも記憶されません。

❶ ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「通話設定」▶「ネットワークサービス」▶「迷惑電話ストップサービス」

❷ 以下の項目から選択

着信番号拒否登録……最後に着信応答した相手の電話番号を着信拒否登録します。

番号指定拒否登録……着信拒否登録する電話番号を直接入力したり、電話帳、発着信履歴から選択します。

登録番号全件削除……着信拒否に登録した電話番号をすべて削除します。

最終登録番号削除……最後に着信拒否に登録した電話番号を削除します。

登録件数確認……着信拒否に登録した電話番号の件数を確認します。

詳細設定……迷惑電話ストップサービス設定サイトに接続し、登録した電話番号の確認・削除ができます。

公共モード（電源OFF）

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）に設定すると、電源を切っている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

- サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。
- 留守番電話サービス※、転送でんわサービス※は、公共モード（電源OFF）に優先して動作します。

※呼出時間が0秒以外での電話に対しては、公共モード（電源OFF）のガイダンスのあとにサービスが動作します。

1 ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「通話設定」▶「ネットワークサービス」▶「公共モード（電源OFF）設定」

2 以下の項目から選択

サービス開始……公共モード（電源OFF）を開始します。

サービス停止……公共モード（電源OFF）を停止します。

設定確認……現在の設定内容を確認します。

各種設定

無線とネットワーク

機内モードやWi-Fi、Bluetooth機能などの設定を行います。

1. **ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」**
2. **以下の項目から選択**

機内モード→P.84

Wi-Fi……Wi-Fi機能のON／OFFを設定します。

Wi-Fi設定→P.49

Bluetooth……Bluetooth機能のON／OFFを設定します。→P.86

Bluetooth設定

- **Bluetooth**……Bluetooth機能のON／OFFを設定します。
- **端末名**……Bluetooth通信を行ったときに、相手の機器に表示させる名前を変更します。
- **検出可能**……他のBluetooth機器から、本FOMA端末を検出できる状態にします。
- **検出可能時間のタイムアウト**……他のBluetooth機器から、本FOMA端末を検出できる時間を設定します。
- **詳細設定**→P.87
- **デバイスのスキャン**……Bluetooth機器を検索します。

テザリング→P.88

VPN設定→P.89

モバイルネットワーク

- **データ通信を有効にする**……データ通信の有効／無効を切り替えます。
- **データローミング**→P.141
- **アクセスポイント名**→P.47
- **ネットワークモード**→P.141
- **通信事業者**→P.141

PC Link……PC LinkのON／OFFを設定します。→P.115

PC Link設定

- **PC Link**……PC LinkのON／OFFを設定します。
- **USB PC Link**……USB PC LinkのON／OFFを設定します。→P.116
- **接続URL表示**……接続URLを表示します。
- **ホスト名変更**……接続URLに用いるホスト名を設定します。
- **ユーザー名／Password初期化**……ユーザー名とPasswordを初期化します。

機内モードに設定する

機内モードを設定すると、FOMA端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信など）が無効になります。

1. **ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「機内モード」にチェックを入れる**

おしらせ

- 「機内モード」にチェックを入れるとWi-Fi、Bluetooth機能もOFFになりますが、機内モード中に再びONにすることができます。

Wi-Fi設定

1. ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」
2. 以下の項目から選択

Wi-Fi……Wi-Fi機能のON／OFFを設定します。

ネットワークの通知……Wi-Fiのオープンネットワークを検出したときに通知するかどうかを設定します。

Wi-Fi簡単設定→P.49

Wi-Fiネットワークを追加→P.50

おしらせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が高額になりますのでご注意ください。

Wi-Fiネットワークのその他の機能を利用する

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1. ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」
2. [≡]▶以下の項目から選択

スキャン……Wi-Fiネットワークのスキャンが開始され、利用可能なWi-Fiネットワークの名称が一覧表示されます。

優先順位の変更……利用するWi-Fiネットワークの優先順位を変更します。変更したいネットワークの名称をロングタッチして、優先順位を入れ替えます。

詳細設定

Wi-Fiのスリープ設定……Wi-Fiのスリープ設定を行います。
画面消灯後15分間操作を行わないと、Wi-Fiをスリープに設定します。スリープ状態になると、Wi-Fiの接続は解除されますが、画面が点灯すると自動的にアクセスポイントに接続します。
充電時または、常にWi-Fi機能をスリープにしないように設定することもできます。

MACアドレス……MACアドレスが表示されます。

IPアドレス……使用しているIPアドレスが表示されます。

ハンドオーバー……ハンドオーバーを有効にするか無効にするかを設定します。

プロキシ……プロキシサーバーを利用するかどうかを設定します。

プロキシ詳細設定……プロキシの詳細設定を行います。

静的IPを使用する……静的IPアドレスを指定してWi-Fiネットワークに接続するかどうかを設定します。チェックを入れると、「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットマスク」「DNS 1」「DNS 2」が設定できるようになります。静的IPアドレスを使用するには、「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットマスク」「DNS1」の設定が必要です。

IPアドレス……IPアドレスを設定します。

ゲートウェイ……ゲートウェイを設定します。

ネットマスク……ネットマスクを設定します。

DNS 1……DNS 1を設定します。

DNS 2……DNS 2を設定します。

Bluetooth通信

FOMA端末とBluetooth対応機器を、Bluetooth通信を利用して接続できます。FOMA端末をワイヤレスイヤホンセット 02（別売）などと接続して、FOMA端末をかばんなどに入れたまま通話をしたり、音楽を聴いたりできます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- 設定や操作方法については、接続するBluetooth対応機器の取扱説明書もご覧ください。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
  - ・他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。FOMA端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
  - ・他の機器（電気製品／AV機器／OA機器など）からなるべく離して接続してください（電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください）。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります）。
  - ・放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
  - ・Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器とFOMA端末の間に身体を挟むと通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
  - ・FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
  - ・10m以内で使用する場合は、無線LAN の電源を切ってください。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
  - ・電車内
  - ・航空機内
  - ・病院内
  - ・自動ドアや火災報知機から近い場所
  - ・ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Bluetooth機器と接続する

FOMA端末と他のBluetooth機器を接続し、データのやり取りを行うには、あらかじめ他のBluetooth機器とペアリング（接続設定）を行い、接続を行います。

- ●Bluetooth機器によって、ペアリングのみ行うBluetooth機器と、接続まで行うBluetooth機器があります。
- ●あらかじめ相手のBluetooth機能をONにして、接続可能になっていることを確認してください。

1 ホーム画面で［≡］▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「Bluetooth設定」

2 「Bluetooth」にチェックを入れる▶「デバイスのスキャン」

- ・デバイスのスキャンが開始され、利用可能なBluetooth機器がリスト表示されます。
- ・相手のBluetooth機器からFOMA端末を認識させる場合は、「検出可能」をタップしてください。

3 通信したいBluetooth機器をタップ

- ・Bluetooth機器によっては、本操作で接続される場合があります。

4 「ペア設定する」またはパスコード（PIN）を入力▶「OK」

■Bluetooth機器の接続を解除する

▶解除したいBluetooth機器をタップ▶「OK」

- ・ペアリングを解除する場合は、解除したいBluetooth機器をロングタッチして「ペアを解除」または「切断してペアを解除」をタップします。

■接続種別を選択する

▶ペア設定済みのBluetooth機器をロングタッチ▶「オプション...」▶接続する種別にチェックを入れる

- ・対応しているBluetooth機器のみ選択できます。

おしらせ

- ●Bluetooth機能を使用しないときは、電池の消費を防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。
- ●SCMS-T非対応Bluetooth機器では、Audioデータの種別にかかわらず、音を聞くことができません。

BLE対応機器と接続したときの詳細設定を行う

BLE(Bluetooth Low Energy)対応機器(G-SHOCKなど）と接続して、電話着信やメール受信など、FOMA端末の情報をBLE対応機器にお知らせしたり、FOMA端末の時計と同期することができます。そのときに、どのような情報をお知らせするかなどの設定を行います。

- ●あらかじめBLE対応機器と接続してください。→P.87

1 ホーム画面で［≡］▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「Bluetooth設定」▶「詳細設定」

2 以下の項目から選択

Alert Notification……電話着信やメール受信などの情報をBLE対応機器でお知らせするように設定します。

Find Me……BLE対応機器を操作してFOMA端末を鳴らすときの音を設定します。

Proximity……FOMA端末とBLE対応機器との接続が解除されたときに、BLE対応機器でのお知らせの強弱またはお知らせしないように設定します。

Time……BLE対応機器の時計を、FOMA端末の時計と同期させるかどうかを設定します。

おしらせ

- BLE対応機器と連動できるアプリケーションは以下になります。
  - 電話
  - spモードメール
  - Eメール
  - Gmail
  - メッセージ
  - 歩数計
  - 時計
  - カレンダー

USBテザリングを利用する

PC接続用microUSBケーブル（試供品）でUSB対応のパソコンなどをFOMA端末と接続し、モバイルネットワークのデータ通信を利用して、パソコンなどをインターネットに接続することができます。

1. FOMA端末を付属のPC接続用microUSBケーブルでパソコンに接続する
2. ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「テザリング」▶「USBテザリング」にチェックを入れる
3. 注意事項の詳細を確認▶「OK」

■PC接続用microUSBケーブルを取り外す
→P.115

おしらせ

- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境（対応OS）は、以下のとおりです。
  - Windows XP
  - Windows Vista（32bit／64bit）
  - Windows 7（32bit／64bit）

おしらせ

- USBテザリングでデータ通信を行うには専用のドライバが必要です。ドライバのダウンロードなどについては下記のサイトをご覧ください。
  http://www.n-keitai.com/guide/download/

Wi-Fiテザリングを利用する

Wi-Fi接続によるテザリング機能を利用することができます。FOMA端末をアクセスポイント（親機）として利用することで、Wi-Fi対応機器（子機）でインターネットに接続したり、ゲーム対戦などのサービスを利用できます。

1. ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「テザリング」▶「Wi-Fiテザリングの設定」
2. 「Wi-Fiアクセスポイントを設定」▶「ネットワークSSID」、「セキュリティ」、「パスワード」を設定▶「保存」
   - お買い上げ時は、「ネットワークSSID」には「N-01D-XXXXXX」が設定されています。
3. 「Wi-Fiテザリング」にチェックを入れる▶注意事項の詳細を確認▶「OK」
4. Wi-Fi対応機器（子機）にFOMA端末と同じネットワークSSID、同じセキュリティの設定を行う
   - Wi-Fi対応機器（子機）とFOMA端末（親機）が接続します。

おしらせ

- 同時に接続できるWi-Fi対応機器は5台までです。
- お買い上げ時の「セキュリティ」の設定は、「Open」となっております。必要に応じて「Open」、「WEP」、「WPA PSK」（TKIP）、「WPA2 PSK」（AES）、「WPA／WPA2 PSK」（TKIP／AES mixed）から選択し、設定を行ってください。

おしらせ

- 設定するチャネルは自動で1、6、11chのいずれかに設定されます。Wi-Fi対応機器（子機）の設定によっては接続できない場合がありますので、接続するWi-Fi対応機器（子機）の設定をご確認ください。

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

VPN（Virtual Private Network）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部から接続する技術です。FOMA端末からVPN接続を設定する場合、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- アクセスポイントをspモードに設定している場合、VPN（PPTP）は利用できません。

VPNを追加する

1 ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「VPN設定」

■PPTPを追加する

▶「PPTP」▶「PPTP VPNを追加」▶ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を設定▶[≡]▶「保存」

■IPSec／L2TPを追加する

▶「IPSec／L2TP」▶[≡]▶「新規接続」▶キーストアのパスワードを入力▶ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を設定▶「完了」

・キーストアのパスワードには任意の文字列を入力します。次回以降キーストアのパスワードを入力するときは同じ文字列を入力します。

VPNに接続する

1 ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「VPN設定」

■PPTPで接続する

▶「PPTP」▶接続したいVPNをタップ▶必要な接続情報を入力▶「接続」

■IPSec／L2TPで接続する

▶「IPSec／L2TP」▶接続したいVPNをタップ▶「接続」▶キーストアのパスワードを入力

VPNを切断する

1 通知パネルを開いて、VPN接続中を示す通知をタップ

■PPTPを切断する

▶接続中のVPNをタップ

■IPSec／L2TPを切断する

▶接続中のVPNをタップ▶「切断」▶「OK」

通話設定

着信拒否の設定や各種ネットワークサービス、インターネット通話などの設定を行います。

1. ホーム画面で［≡］▶「本体設定」▶「通話設定」

2. 以下の項目から選択

電源キーで通話を終了……電源キーを押して、通話を終了できるように設定します。ただし、スリープモード中は通話を終了せずスリープモードを解除します。

着信拒否……指定した電話の着信を拒否します。

- **連絡先登録外番号**……電話帳に登録されていない相手からの着信を拒否します。
- **通知不可能**……発信者番号を通知できない相手からの着信を拒否します。
- **公衆電話**……公衆電話からの着信を拒否します。
- **非通知設定**……発信者番号を通知しない相手からの着信を拒否します。
- **指定電話番号**……「着信拒否リスト」に登録した電話番号からの着信を拒否します。
- **着信拒否リスト**……「指定電話番号」で着信を拒否する電話番号のリストを表示します。「電話番号を追加」をタップして電話番号を追加することができます。電話番号を直接入力するか、をタップして電話帳や通話履歴から拒否したい電話番号を追加します。

ネットワークサービス→P.76

海外設定……海外ローミング時の設定を行います。

通話詳細設定……通話に関する詳細設定を行います。

フェムトセルサーチ……周辺の電波を検索して、フェムトセルに接続します。

アカウント……インターネット通話のアカウントを設定します。

インターネット通話を使用……インターネット通話の通話方法を設定します。

ドコモサービス

ドコモアプリのパスワードや、オートGPSなどの設定を行います。

1. ホーム画面で［≡］▶「本体設定」▶「ドコモサービス」

2. 以下の項目から選択

アプリケーション管理……定期アップデート確認などの設定を行います。

Wi-Fi……Wi-Fi経由でドコモサービスを利用するための設定を行います。

ドコモアプリパスワード……ドコモアプリで使用するパスワードを設定します。

オートGPS……オートGPS機能の設定などを行います。

オープンソースライセンス……オープンソースライセンスを確認します。

音

マナーモードや着信音などの設定を行います。

1. ホーム画面で［≡］▶「本体設定」▶「音」

2. 以下の項目から選択

マナーモード……公共の場所などで、電話の音などを周囲に出さないように設定します。
- 電源キーを1秒以上押して、「マナーモード」をタップしても設定できます。

バイブレータ……電話着信時のバイブレーションを設定します。

音量……着信音やメディア再生音、アラーム音などの音量を設定します。

着信音……電話の着信音を設定します。

通知音……メールなどの通知音を設定します。

タッチ操作音……電話番号の入力時などに利用する、ダイヤルパッドの操作音のON／OFFを設定します。

選択時の操作音……メニュー選択時の操作音のON／OFFを設定します。

画面ロックの音……画面ロック／ロック解除時の操作音のON／OFFを設定します。

入力時バイブレーション……特定の画面操作時のバイブレーションのON／OFFを設定します。

表示

画面の明るさや文字フォント、キーイルミネーション、タッチパネルの感度などの設定を行います。

1. ホーム画面で［≡］▶「本体設定」▶「表示」

2. 以下の項目から選択

画面の明るさ……ディスプレイの明るさを調整します。「明るさを自動調整」にチェックを入れると、周囲の明るさを検知し自動で調整します。

画面の自動回転……FOMA端末の向きに応じて、画面表示を自動で切り替えるかどうかを設定します。

アニメーション表示……画面切り替え時のアニメーションの表示を設定します。

画面消灯……画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定します。バックライト消灯後約5秒間は、［≡］［⌂］［↩］をタップして再度点灯することができます。

フォント選択……画面に表示される文字のフォントを設定します。

タッチパネル設定

　高感度タッチ……タッチパネルを操作するときの感度を、高感度に設定します。

着信ランプ……着信時のお知らせLEDの点灯パターン、点灯色を設定します。

お知らせランプ……不在着信や新着メール、新着メッセージがあるときに、お知らせLEDを点滅するように設定します。

キーイルミネーション……電話の着信時や通話中、メール受信時などに、［≡］［⌂］［↩］をキーイルミネーション点灯させることができます。

イルミネーションを使用……キーイルミネーションを点灯するかどうかを設定します。

時報設定……キーイルミネーションを、設定した時間に点灯するように設定します。

音声着信～充電……それぞれの動作時の、キーイルミネーションの点灯パターンを設定します。

電源ON～おサイフケータイ……それぞれの動作時に、キーイルミネーションを点灯するかどうかを設定します。

おしらせ

<画面の明るさ>

- 電池残量が少なくなると、省電力のため自動的に「画面の明るさ」が最小に設定されます。

<お知らせランプ>

- アプリケーション（Gmailなど）によっては、本設定にかかわらず、お知らせLEDが点滅する場合があります。

ecoモード

ecoモードに設定すると、電池の消費を抑えることができます。

1 ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「ecoモード」

2 以下の項目から選択

ecoモード……ecoモードを設定します。

OFF……ecoモードをOFFにします。

オート……「オート設定」で設定した電池残量に応じて自動で「お好みecoモード」や「しっかりecoモード」に設定します。

お好みecoモード……「お好みecoモード設定」の内容で、ecoモードに設定します。

しっかりecoモード……電池の消費を極力抑えたecoモードに設定します。

お好みecoモード設定……お好みecoモードにしたときの動作を設定します。

画面の明るさ……ディスプレイを暗くします。

バックライト消灯……画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定します。

イルミネーション停止……キーイルミネーションをOFFに設定します。

BluetoothをOFFにする……Bluetooth機能をOFFに設定します。

Wi-FiをOFFにする……Wi-Fi機能をOFFに設定します。

GPS機能をOFFにする……GPS機能をOFFに設定します。

同期を停止する……アプリケーションとの同期を停止します。

ライブ壁紙を停止する……ライブ壁紙を設定していた場合､静止画の壁紙に設定します。

オート設定……ecoモードを「オート」に設定したとき、自動でお好みecoモード、しっかりecoモードをONにする電池残量を設定します。

節電のすすめ……電池の消費を抑えるコツを表示します。

現在地情報とセキュリティ

セキュリティロックや、位置情報の取得などについて設定します。

1 ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「現在地情報とセキュリティ」

2 以下の項目から選択

無線ネットワークを使用→P.125

GPS機能を使用→P.125

ロック解除セキュリティの設定（変更）……画面ロックやおサイフケータイ ロック設定を解除するときに使うロック解除セキュリティを設定します。パターンやロックNo、パスワードを設定することができます。

画面ロックセキュリティ……画面ロックを解除するときに、ロック解除セキュリティを入力するように設定します。

おサイフケータイ ロック設定→P.133

PIN設定→P.95

パスワードを表示……パスワード入力時に文字を表示するように設定します。

デバイス管理者を選択……本FOMA端末の管理者を有効／無効に設定します。

セキュリティポリシー……リモート管理者によって設定されているセキュリティ情報を確認することができます。また、FOMA端末やmicroSDカードのデータを暗号化することができます。

・データの暗号化中や暗号化解除中に他のアプリケーションからデータの更新を行うと、正常に動作しなくなる場合があります。
・microSDカードを暗号化したまま「データの初期化」を行うと、microSDカード内の暗号化済みデータが読めなくなります。その場合、暗号化されたデータは他端末でも操作が不可能となりますので、「データの初期化」の前に「SDカードでの暗号化」を解除してください。

安全な認証情報の使用……安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスを許可します。

・あらかじめ認証情報ストレージパスワードの設定が必要です。

SDカードからインストール……暗号化された証明書をmicroSDカードからインストールします。

パスワードの設定……認証情報ストレージのパスワードを設定します。

ストレージの消去……すべての認証情報を削除して、認証情報ストレージパスワードをリセットします。

デバイス管理者を設定する

本FOMA端末の管理者を有効／無効に設定します。

●おまかせロックを利用する場合は、「おまかせロック」を有効にする必要があります。

1 ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「現在地情報とセキュリティ」▶「デバイス管理者を選択」

2 管理者を選択▶「有効にする」／「無効にする」

FOMA端末で利用する暗証番号

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。FOMA端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は、「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

- 「My docomo」については、本書裏面の裏側をご覧ください。

PIN1コード

ドコモminiUIMカードには、PIN1コードという暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.93
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別のFOMA端末で利用していたドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PIN1コードの入力を3回連続して間違えると、PIN1コードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

ドコモminiUIMカードのPINを有効にする

電源を入れたときにPIN1コードの入力が必要になるように設定します。

1. ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「現在地情報とセキュリティ」▶「PIN設定」
2. 「PIN1コード入力設定」

   ■PIN1コードを変更する場合

   ▶「PIN1コード変更」▶現在のPIN1コードを入力▶「OK」▶新しいPIN1コードを入力▶「OK」▶再度新しいPIN1コードを入力▶「OK」
   - あらかじめ「PIN1コード入力設定」を有効にしておく必要があります。
3. PIN1コードを入力▶「OK」

PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PIN1コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

■ドコモminiUIMカードのPINロックを解除する

- PIN1がロックされた旨のメッセージが表示されたら、以下のように解除します。
  「緊急通報」▶「＊＊05＊［PINロック解除コード］＊［新しいPIN1コード］＊［新しいPIN1コード］#」と入力
- 例えば、PINロック解除コードが「88888888」で、ドコモminiUIMカードのPIN1コードを「2580」に変更する場合は、「＊＊05＊88888888＊2580＊2580#」と入力します。

アプリケーション

アプリケーションの管理に関する設定を行います。

1. ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「アプリケーション」
2. 以下の項目から選択

提供元不明のアプリ……Androidマーケット以外のサイトやメールなどから入手したアプリケーションのインストールを許可するかどうかを設定します。

アプリケーションの管理……アプリケーションの名前やバージョンなどを確認したり、強制停止、削除などができます。

実行中のサービス……実行中のサービスを表示して、停止や設定変更などができます。

ストレージ使用状況……アプリケーションのストレージ使用状況を表示します。

電池使用量……アプリケーションごとの電池の使用量を確認します。

開発……アプリケーション開発に必要となる各種設定を行います。

アカウントと同期

Twitter、Facebook、Google、mixi、Microsoft® Exchange ActiveSync®などのオンラインサービスのアカウントを設定すると、FOMA端末と各種サービスのサーバーとの間でデータの同期、送受信ができます。自動同期させると、ウェブ上の更新情報がFOMA端末に自動更新されます。

- アカウントの追加について→P.50

1 ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「アカウントと同期」

2 以下の項目から選択

バックグラウンドデータ……すべてのアプリケーションが自動的にデータ通信を行うかどうかを設定します。

自動同期……アプリケーションが自動的にデータの同期を行うかどうかを設定します。

おしらせ

- 本設定によって、パケット通信料がかかる場合があります。また、チェックを外している状態と比較すると電池が消耗します。

手動で同期を開始する

1 ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「アカウントと同期」

2 同期したいアカウントをタップ

■アカウントを削除する

▶削除したいアカウントをタップ▶「アカウントを削除」▶「アカウントを削除」

3 [≡]▶「今すぐ同期」

・同期を中止したい場合は、[≡]をタップして、「同期をキャンセル」をタップします。

おしらせ

<アカウントを削除する>

- 最初に設定したGoogleアカウントを削除するには、FOMA端末のデータを初期化する必要があります。→P.97

各種設定

バックアップと復元

Googleアプリケーションのバックアップ設定やFOMA端末リセットを行います。

1 ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「バックアップと復元」

2 以下の項目から選択

データのバックアップ……アプリケーションの設定やデータをGoogleサーバーにバックアップします。

自動復元……アプリケーションの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元するように設定します。

データ移行モード……「iCお引っこしサービス」を利用するためのモードに設定します。

データの初期化……FOMA端末内のデータをすべて削除し、お買い上げ時の状態に戻します。「SDカード内データを消去」にチェックを入れると、microSDカード内のデータもすべて削除されます。

ストレージ

microSDカードやFOMA端末の容量を確認したり、microSDカードのフォーマットをすることができます。

1 ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「ストレージ」

2 以下の項目から選択

合計容量……microSDカードの容量を確認します。

空き容量……microSDカードの空き容量を確認します。

SDカードのマウント解除／SDカードをマウント……microSDカードを安全に取り外せるように、認識を解除／microSDカードをFOMA端末に認識させます。

SDカード内データを消去……microSDカードをフォーマットします。フォーマットを行うと、microSDカード内の内容がすべて消去されますのでご注意ください。

- あらかじめ「SDカードのマウント解除」を行ってください。

空き容量……FOMA端末の空き容量を確認します。

検索

検索機能（P.68）の設定を行います。

1 **ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「検索」**

2 **以下の項目から選択**

・設定するアプリケーションによって、表示される項目は異なります。

Google検索の設定

入力候補の表示……Google検索するときに、入力候補を表示するように設定します。

Googleと共有する……本FOMA端末の位置情報をGoogleと共有するように設定します。

検索履歴……カスタマイズされた検索履歴を表示するように設定します。

検索履歴の管理……カスタマイズされた検索履歴を管理します。

検索対象……検索対象とするデータの範囲を指定します。

ショートカットを消去……検索ボックスで検索した履歴を削除します。

言語とキーボード

FOMA端末で使用する言語を変更したり、キーボード操作時の設定を行います。

1 **ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「言語とキーボード」**

2 **以下の項目から選択**

言語を選択……FOMA端末で使用する言語を変更します。

ATOK→P.57

音声入出力

音声検索や、テキストから音声への変換機能を設定します。

1. **ホーム画面で［≡］▶「本体設定」▶「音声入出力」**
2. **以下の項目から選択**

音声認識装置の設定

言語……入力する音声を認識させる言語を設定します。

セーフサーチ……検索結果のフィルタリングを設定します。

不適切な語句をブロック……音声認識の不適切な結果の表示を設定します。

テキスト読み上げの設定

サンプルを再生……音声合成のサンプルを再生します。

常に自分の設定を使用……アプリケーションの設定を「既定のエンジン」「音声データをインストール」「音声の速度」「言語」の設定内容で動作するようにします。

既定のエンジン……テキスト読み上げに使用する音声合成エンジンを設定します。

音声データをインストール……音声合成に必要なデータをインストールします。

音声の速度……テキストの読み上げ速度を設定します。

言語……テキスト読み上げに使用する言語を設定します。

Pico TTS……インストールされている音声合成エンジンについて設定します。日本語には対応していません。

ユーザー補助

操作時に音や振動で反応するユーザー補助アプリケーションを設定します。

- お買い上げ時はユーザー補助アプリケーションが登録されていません。「ユーザー補助」を設定するには、あらかじめAndroidマーケットなどから対応するアプリケーションをダウンロードしてインストールする必要があります。

1. **ホーム画面で［≡］▶「本体設定」▶「ユーザー補助」▶「ON」**

日付と時刻

FOMA端末の時計に関する設定を行います。

1. **ホーム画面で［≡］▶「本体設定」▶「日付と時刻」**
2. **以下の項目から選択**

自動……自動で日時を補正するように設定します。

日付設定……手動で日付を設定します。

タイムゾーンの選択……タイムゾーンを手動で設定します。

時刻設定……手動で時刻を設定します。

24時間表示……時計の表示を12時間表示か24時間表示かを設定します。

日付形式……日付の表示形式を設定します。

端末情報

端末の状態を確認したり、ソフトウェア更新や、OSのバージョンアップを行います。

1. **ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「端末情報」**
2. **以下の項目から選択**

ソフトウェア更新→P.153

メジャーアップデート→P.157

MEDIAS NAVI……MEDIAS NAVIからの更新通知を受けるように設定します。

端末の状態……電池残量や電話番号などを確認します。

電池使用量……アプリケーションごとの電池の使用量を確認します。

法的情報……オープンソースライセンスやGoogle利用規約を確認します。

モデル番号……型番を確認します。

ファームウェアバージョン……ファームウェアバージョンを確認します。

ベースバンドバージョン……ベースバンドバージョンを確認します。

カーネルバージョン……カーネルバージョンを確認します。

ビルド番号……ビルド番号を確認します。

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。

- spモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 アプリケーション一覧画面で「spモードメール」

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信します。

1 アプリケーション一覧画面で「メッセージ」

・メッセージ画面が表示されます。

■SMSを作成して送信する
▶「新規作成」▶「To」に送信先の電話番号、「メッセージを入力」にメッセージを入力▶「送信」

■送受信したSMSを表示する
▶メッセージスレッドをタップ

■SMSを返信する
▶返信したい宛先をタップ▶メッセージを入力▶「送信」

■SMSを転送する
▶メッセージスレッドをタップ▶転送したいSMSをロングタッチ▶「転送」▶「To」に転送先の電話番号を入力▶「送信」

■SMSの電話番号を電話帳に登録する
▶メッセージスレッドをロングタッチ▶「電話帳に追加」▶「新規登録」または電話帳をタップ

■SMSをmicroSDカードにインポート／エクスポートする
▶[≡]▶「インポート／エクスポート」▶「SDカードからインポート」／「SDカードにエクスポート」

おしらせ

- メッセージ入力中に[≡]▶「絵文字を挿入」で、Android搭載の端末で表示することができる絵文字を、挿入することができます。入力時には顔文字として表示されますが、Android搭載の端末で受信すると、絵文字で表示されます。
- 海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」ではじまる場合には、「0」を除いて入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先の携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。

SMSを削除する

❶ アプリケーション一覧画面で「メッセージ」

■1件削除する
▶メッセージスレッドをタップ▶削除したいSMSをロングタッチ▶「メッセージを削除」▶「削除」

■メッセージスレッドを削除する
▶削除したいメッセージスレッドをロングタッチ▶「スレッドを削除」▶「削除」
・メッセージスレッド内のSMSがすべて削除されます。

■すべてのメッセージスレッドを削除する
▶[≡]▶「スレッドを削除」▶「削除」

■SMSの自動削除を設定する
▶[≡]▶「設定」▶「古いメッセージを削除」にチェックを入れる▶「テキストメッセージの制限件数」▶メッセージスレッドごとの制限件数を入力▶「設定」

おしらせ

●以下の操作でSMSを保護できます。
メッセージ画面でメッセージスレッドをタップ▶保護したいSMSをロングタッチ▶「メッセージをロック」

SMSの設定を変更する

❶ メッセージ画面で[≡]▶「設定」

❷ 設定する項目をタップ

■新着SMSの通知を設定する
▶以下の項目から選択

通知……新着SMSがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。

着信音を選択……新着SMSをお知らせする着信音を設定します。

バイブレーション……新着SMSをお知らせするときの、バイブレーションを設定します。

Eメール

mopera Uや一般のサービスプロバイダが提供するメールアカウントをFOMA端末に設定し、パソコンと同じようにEメールを送受信できます。

●「メールのアカウントを設定する」→P.50

Eメールを表示する

1 アプリケーション一覧画面で「メール」

・受信トレイ画面が表示されます。

■受信トレイを更新する

▶[≡]▶「更新」

・新着メールがある場合は受信し、「受信トレイ」に表示されます。

2 読みたいメールをタップ

■Eメールを返信する

▶「返信」／「全員に返信」▶メッセージを入力▶「送信」

■Eメールを転送する

▶[≡]▶「転送」▶「To」に転送先のメールアドレスを入力▶「送信」

■Eメールを削除する

▶「削除」

Eメールを作成して送信する

1 受信トレイ画面で[≡]▶「作成」

2 「To」に送信相手のメールアドレスを入力

■CcやBccを追加する

▶[≡]▶「Cc／Bccを追加」

3 「件名」に件名を入力

4 「メッセージを作成」にメッセージを入力

■添付ファイルを追加する

▶[≡]▶「添付ファイルを追加」▶添付ファイルの種類をタップ▶添付ファイルをタップ

5 「送信」

メールボックスを開く

1 受信トレイ画面で[≡]▶「フォルダ」

・受信トレイや送信トレイなどが表示されます。

■EメールをmicroSDカードにインポート／エクスポートする

▶[≡]▶「インポート／エクスポート」▶「SDカードからインポート」／「SDカードにエクスポート」

Eメールの設定を変更する

1 受信トレイ画面で［≡］▶「アカウントの設定」

■メールアカウントを切り替える

・複数のメールアカウントを設定している場合にメールアカウントを切り替えます。

▶「アカウント」▶切り替えるメールアカウントをタップ

2 設定する項目をタップ

■新着Eメールの通知を設定する

▶以下の項目から選択

メール着信通知……新着Eメールがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。

着信音を選択……新着Eメールをお知らせする着信音を設定します。

バイブレーション……新着Eメールをお知らせするときの、バイブレーションを設定します。

■新着Eメールの自動確認を設定する

・新着Eメールが届いているかサーバーに自動で確認をするように設定できます。

▶「受信トレイの確認頻度」▶「自動確認しない」または自動確認の間隔を設定する

・一定の間隔でメールサーバーに接続するように設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかります。

Gmail

Gmailは、Googleのメールサービスです。FOMA端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

●Gmailを利用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。→P.50

Eメールを表示する

1 アプリケーション一覧画面で「Gmail」

・メッセージスレッド一覧画面が表示されます。
・Gmailでは、返信ごとにEメールをメッセージスレッドにまとめて表示します。新着Eメールが既存のEメールへの返信メールであれば、それらは同じメッセージスレッドにまとめられます。新規のEメールや、件名を変更した場合は、新しいメッセージスレッドが作成されます。

■アカウントを切り替える

▶［≡］▶「アカウント」▶表示したいアカウントをタップ

■Gmailを更新する

▶［≡］▶「更新」

・FOMA端末のGmailとウェブサイトのGmailを同期させて、受信トレイを更新します。

■Eメールを検索する

▶［≡］▶「検索」▶検索ボックスにキーワードを入力▶「🔍」

2 メッセージスレッドをタップ

・複数のメールがある場合、「X件の既読メッセージ」をタップするとメッセージの一覧が表示されます。読みたいメッセージをタップしてメッセージを確認できます。
・をタップして電話帳の登録や確認ができます。

■Eメールを返信する

▶「◀」▶メッセージを入力▶[≡]▶「送信」

・全員に返信する場合は、「◀」をタップして「全員に返信」をタップします。

■Eメールを転送する

▶「◀」▶「転送」▶「To」に転送先のメールアドレスを入力▶[≡]▶「送信」

■Eメールを削除する

▶「削除」

Eメールを作成して送信する

1 メッセージスレッド一覧画面で[≡]▶「新規作成」

2 「To」に送信相手のメールアドレスを入力

■CcやBccを追加する

▶[≡]▶「Cc／Bccを追加」

3 「件名」に件名を入力

4 「メッセージを作成」にメッセージを入力

■添付ファイルを追加する

▶[≡]▶「添付」▶添付ファイルの種類をタップ▶添付ファイルをタップ

5 **「送信」**

メッセージスレッドの管理

1 メッセージスレッド一覧画面でスレッドをロングタッチ

2 以下の項目から選択

開く……メッセージスレッドを開きます。

アーカイブ……メッセージスレッドをアーカイブ（保管）します。アーカイブされたメッセージスレッドは受信トレイに表示されません。

ミュート……メッセージスレッドを非表示にします。

未読にする／既読にする……メッセージスレッドを未読／既読にします。

削除……メッセージスレッドを削除します。

スターを付ける／スターをはずす……メッセージスレッドにスターを付けたり外したりします。

ラベルを変更……メッセージスレッドのラベルを追加／変更します。

迷惑メールを報告……メッセージスレッドが削除され、迷惑メールとしてGoogleに報告されます。

ヘルプ……Googleモバイルヘルプページが表示されます。

■アーカイブまたはミュートしたメッセージスレッドを再表示する

メッセージスレッド一覧画面で[≡]▶「ラベルを表示」▶「すべてのメール」

おしらせ

- FOMA端末ではラベルを作成できません。Gmailのウェブサイトで作成してください。

メッセージスレッドをラベルごとに表示する

「ラベルを変更」で設定したメッセージスレッドのみを表示させることができます。

1 メッセージスレッド一覧画面で[≡]▶「ラベルを表示」

2 表示させたいラベルの種類をタップ

- スター（★）の付いたメッセージスレッドや送信済みのメールのみを表示させることもできます。

Gmailの設定を変更する

1 メッセージスレッド一覧画面で[≡]▶「その他」▶「設定」▶「全般設定」または設定するアカウントをタップ

2 設定する項目をタップ

■新着Eメールの通知を設定する

▶「メール着信通知」にチェックを入れる▶「通知するラベル」▶設定するラベルをタップ▶以下の項目から選択

メール着信通知……新着Eメールがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。

着信音……新着Eメールをお知らせする着信音を設定します。

バイブレーション……新着Eメールをお知らせするときの、バイブレーションを設定します。

最初の新着メールのみ通知……最初の新着Eメールのみを通知し、新着Eメールごとには通知しないように設定します。

緊急速報「エリアメール」

FOMA端末が圏内にあるときに、気象庁や自治体から配信される緊急情報などを受信することができます。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 以下の場合はエリアメールを受信できません。
  - 圏外時
  - 電源OFF時
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - 他社のSIMカードをご利用時
  - 通話中
- 以下の場合はエリアメールを受信できない場合があります。
  - パケット通信中（データ通信中）
  - Wi-Fiテザリング利用中
  - USBテザリング利用中
  - ソフトウェア更新中
  - メジャーアップデート中
  - FOMA端末のメモリ容量が少ないとき
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」受信

内容通知画面が表示され、ブザー音（緊急地震速報）／着信音（緊急地震速報以外（災害・避難情報など））とバイブレーション、お知らせLEDの点滅でお知らせします。

- ブザー音や着信音の音量は変更できません。

受信したエリアメールを後で閲覧する

1. アプリケーション一覧画面で「エリアメール」
2. エリアメールをタップ

緊急速報「エリアメール」の設定をする

1. アプリケーション一覧画面で「エリアメール」▶［≡］▶「設定」▶以下の項目から選択

受信設定……エリアメールを受信するかどうかを設定します。

着信音

　鳴動時間……ブザー音とエリアメール用の着信音の鳴動時間を設定します。

　マナーモード時設定……マナーモード設定中にエリアメールを受信した場合、ブザー音とエリアメール用の着信音を鳴動するかどうかを設定します。

受信画面および着信音確認……緊急地震速報と災害・避難情報のエリアメール受信時の動作を確認します。

その他の設定

　受信登録……緊急情報以外に受信したい情報の「Message ID」（サービス提供者から発行されるメッセージIDを入力）と「エリアメール名」（任意の名称を入力）を登録します。

Googleトーク

Googleトークは、Googleのオンラインインスタントメッセージサービスです。Googleアカウントを所有する相手とチャット（文字によるおしゃべり）ができます。

●Googleトークを利用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。→P.50

Googleトークの準備

1 アプリケーション一覧画面で「トーク」

・トーク画面が表示されます。

■チャットメンバーを追加する

▶［≡］▶「友だちを追加」▶追加したいメンバーのGoogleアカウントを入力▶「招待状を送信」

・招待相手に招待状が送信されます。

■招待を承諾する

・招待状を受け取ると「チャットへの招待」と表示されます。

▶「チャットへの招待」▶「承諾」

■オンラインステータスとメッセージを変更する

▶自分のアカウントをタップ▶「▼」▶設定したいオンラインステータスを選択▶「ステータスメッセージ」▶ステータスメッセージを入力▶「完了」

■Googleトークの設定を変更する

▶［≡］▶「設定」

・Googleトークに自動的にログインするかどうか、検索履歴の消去、通知アイコンの表示、着信音／バイブレーションなどの設定を行うことができます。

■ログアウトする

▶［≡］▶「ログアウト」

おしらせ

●招待状を受信した相手が承諾すると、返信待ちの招待状リストから該当する招待状が削除されます。

チャットする

1 トーク画面でチャットメンバーの名前をタップ

■チャットメンバーを切り替える

▶［≡］▶「チャット相手の切替」▶チャットメンバーの名前をタップ

■複数の相手とチャットする

▶［≡］▶「グループチャット」▶チャットメンバーの名前をタップ

2 メッセージを入力▶「送信」

■チャットを終了する

▶［≡］▶「チャット終了」

・特定のメンバーを終了させるには、トーク画面でチャットメンバーの名前をロングタッチし、「チャット終了」をタップします。

ブラウザ

ブラウザを利用して、ウェブページを閲覧できます。本FOMA端末では、パケット通信やWi-Fiによる接続でサイトを利用できます。

ブラウザを起動してウェブページを表示する

1 アプリケーション一覧画面で「ブラウザ」

アドレスバー

http://smt.docomo.ne.jp/

dmenu 今日 東京 双子座 1位 周辺ガイド

マイメニュー　メニューリスト

キーワードを入力して検索　検索

2 アドレスバーをタップ▶URLまたはキーワードを入力

・アドレスバーにURLまたはキーワードを入力すると、候補リストが表示されます。

■音声検索を行う

▶アドレスバーをタップ▶「🎤」▶マイクに向かって検索語をはっきりと発声する

3 「→」または候補リストから表示したいウェブページをタップ

おしらせ

● FOMA端末に内蔵されたFlash Playerに対して最新版のアップデートプログラムがインストールされていないとウェブコンテンツを閲覧できない場合があります。Androidマーケット(P.122)に接続の上、Flash Playerの更新情報を確認してください。

ウェブページ表示中の操作

■スクロール

・スクロールしたい方向にスライド→P.46

■拡大／縮小

・拡大／縮小したい箇所を2本の指で広げる／狭める→P.46
・拡大したい部分をダブルタップ（2回続けてタップ）、再度ダブルタップしてもとの表示に戻す

■ウェブページを前後に移動

・[戻る]で前のページに戻る、[≡]▶「進む」で次のページに進む

ウェブページに含まれる文字を検索する

1 ウェブページ表示中に[≡]▶「その他」▶「ページ内検索」

2 検索文字を入力

3 「◀」／「▶」

・前後の一致する文字を表示します。

4 「×」

・検索を終了します。

ウェブページに含まれる文字をコピーする

1. ウェブページ表示中に［≡］▶「その他」▶「テキストを選択してコピー」
2. コピーする文字をドラッグし、を開始位置に、を終了位置にドラッグ▶選択した文字をタップ

おしらせ

- コピーした文字は、ブラウザの検索ボックスやEメールなど他のアプリケーションに貼り付けることができます。貼り付けたいテキストボックスをロングタッチして「貼り付け」をタップしてください。

ブックマークを利用する

ウェブページをブックマークに登録して、すばやくウェブページを開くことができます。

ブックマークに登録する

1. 登録したいウェブページで［≡］▶「ブックマーク」
   ・ブックマークがサムネイル表示されます。
2. 「★追加」
3. ブックマークの名前を確認／変更する▶「OK」

メール／ブラウザ

ブックマークに登録したウェブページを表示する

1 ウェブページ表示中に［≡］▶「ブックマーク」

■よく使うウェブページを表示する
▶「よく使用」▶表示したいウェブページをタップ

■閲覧履歴からウェブページを表示する
▶「履歴」▶表示したいウェブページをタップ

■ブックマークをmicroSDカードにインポート／エクスポートする
▶［≡］▶「インポート」／「エクスポート」

2 表示したいブックマークをタップ

おしらせ

- 「よく使用」、「履歴」表示時、ウェブページ名の右側に☆が表示されます。このアイコンをタップして、ブックマークへの追加（☆が金色）／削除（☆が灰色）が行えます。

新しいブラウザウィンドウを開く

最大8つのウェブページを開き、切り替えて表示できます。

1 ウェブページ表示中に［≡］▶「新しいウィンドウ」

・新しいブラウザウィンドウが開き、設定されているホームページが表示されます。

■ウィンドウを切り替える
▶「ウィンドウ」▶表示したいブラウザウィンドウをタップ

ウェブページのリンクを操作する

ウェブページに表示されているリンクから、以下の操作ができます。

■URL
・タップしてウェブページを開きます。
・ロングタッチして、URLをブックマークに登録したり、URLをコピーしたり、新しいウィンドウで表示するなどできます。

■メールアドレス
・タップしてメールを作成します。
・ロングタッチして、メールアドレスをコピーします。

■電話番号
・タップして電話発信します。

ウェブページに表示されている画像を保存する

1. ウェブページ表示中に、保存したい画像をロングタッチ▶「画像を保存」

保存した画像を確認する

1. ウェブページ表示中に[≡]▶「その他」▶「ダウンロード一覧」
2. リストをタップ

ブラウザの設定を変更する

1. ウェブページ表示中に[≡]▶「その他」▶「設定」
2. 設定する項目をタップ

■ウェブページを常に横向きで表示する
▶「常に横向きに表示」にチェックを入れる

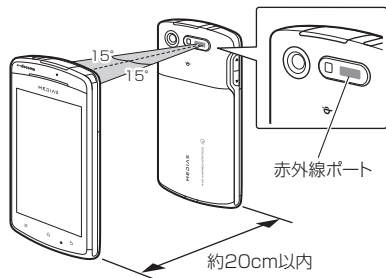
■ウェブページをダブルタップ（2回続けてタップ）したときの倍率を設定する
▶「デフォルトの倍率」▶「低」／「中」／「高」

■文字サイズを変更する
▶「テキストサイズ」▶「最小」／「小」／「中」／「大」／「最大」

■ホームページを設定する
・新しいブラウザを開いたときに表示されるページを設定します。
▶「ホームページ設定」▶ホームページに設定したいURLを入力▶「OK」

赤外線通信

赤外線通信機能を搭載した他のFOMA端末などと、電話帳やspモードメール、スケジュール＆メモの送受信が行えます。

- 赤外線ポートが平行に向き合うようにしてください。また、機器の間にものを置いたり、赤外線ポートをふさいだりしないでください。
- 赤外線ポートが汚れているときは、傷がつかないように柔らかい布で拭き取ってください。赤外線通信失敗の原因になる場合があります。
- 赤外線の通信距離は約20cm以内でご利用ください。また、通信終了を通知するメッセージが表示されるまで動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、その影響により正常に通信できない場合があります。
- 相手側のFOMA端末によっては、送受信ができない場合があります。

赤外線通信で電話帳を送信する

1. アプリケーション一覧画面で「赤外線」▶「全件送信」▶「電話帳」

   ■spモードメールを送信する
   ▶「spモードメール」▶「受信ボックス」／「送信ボックス」／「未送信ボックス」

   ■スケジュール&メモを送信する
   ▶「スケジュール&メモ」

2. 「開始する」▶ドコモアプリパスワードを入力▶「OK」▶認証パスワードを入力▶「決定」
   - 受信側のFOMA端末を受信待ち状態にします。
3. 「OK」
   - 赤外線ポートを通信先に向けます。
4. 「OK」

赤外線通信で受信する

1. アプリケーション一覧画面で「赤外線」▶「全件受信」

   ■1件受信する
   ▶「1件受信」▶「OK」▶「OK」▶「OK」

2. ドコモアプリパスワードを入力▶「OK」▶認証パスワードを入力▶「決定」
   - 送信側のFOMA端末を送信状態にします。
3. 「OK」
   - 赤外線ポートを通信先に向けます。

4 「OK」▶「保存する」

Bluetooth通信

Bluetooth通信機能を利用して、他のBluetooth機器とワイヤレスでデータの送受信が行えます。

- Bluetooth機器との接続方法について →P.86

Bluetooth通信でデータを送信する

<例：ギャラリーの画像を送信する>

1 アプリケーション一覧画面で「ギャラリー」▶送信したい画像を表示▶ ≡ ▶「共有」▶「Bluetooth」

2 送信先のBluetooth機器をタップ

Bluetooth通信でデータを受信する

1 送信側からファイルを送信する
- ・ステータスバーにが表示されます。

2 通知パネルを開いてBluetoothのファイルの着信通知をタップ▶「承諾」
- ・通知パネルから受信を確認し、データを登録します。

おしらせ

- Bluetooth機能搭載機器とデータの送受信を行う場合、プロファイルが異なると送受信できない場合があります。

パソコン接続

FOMA端末とパソコンを接続する

FOMA端末とパソコンをPC接続用microUSBケーブル（試供品）で接続します。

- PC接続用microUSBケーブルの抜き差しは、USBプラグを水平にして行ってください。→P.43

おしらせ

- PC接続用microUSBケーブルのUSBプラグはパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。
- データ転送中にPC接続用microUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

microSDカード内のデータを操作する

PC接続用microUSBケーブル（試供品）でFOMA端末とパソコンなどを接続して、microSDカード内のデータをパソコンから読み書きできます。

1 FOMA端末を付属のPC接続用microUSBケーブルでパソコンに接続する

2 通知パネルを開いて「USB接続」▶「カードリーダーモード」▶「OK」▶「OK」
- ・パソコンを操作して、microSDカード内のデータを表示できるようになります。

PC接続用microUSBケーブルを安全に取り外す

❶ 通知パネルを開いて「USBストレージをOFFにする」／「切断確認」▶「OK」

❷ PC接続用microUSBケーブルを取り外す（P.43）

PC Linkを利用する

Wi-Fi接続やUSB PC LinkでFOMA端末とパソコンを接続して、パソコンの専用ソフトやブラウザからFOMA端末内のデータを操作することができます。

- ●専用ソフトでは以下の操作ができます。
  - ・パソコンのファイルをFOMA端末のmicroSDカードに転送
  - ・FOMA端末内の静止画／動画をパソコンにコピー（おまかせコピー）
  - ・FOMA端末の電話帳、メール、ブックマークのインポート／エクスポート
  - ・指定したウェブサイトをFOMA端末で開く
  - ・アプリケーションをFOMA端末で検索
- ●パソコンのブラウザからは以下の操作ができます。
  - ・FOMA端末の電話帳、ブックマークの閲覧／編集
  - ・FOMA端末のギャラリーの閲覧

専用のソフトでPC Linkを利用する

- ●あらかじめパソコンに専用のソフトをインストールしてください。専用ソフトのダウンロードや動作詳細については、下記のサイトをご覧ください。
  http://www.n-keitai.com/guide/download/

❶ ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「PC Link設定」

❷「PC Link」にチェックを入れる▶ホスト名を確認▶「OK」
- ・ホスト名を変更する場合は、ホスト名を入力して「OK」をタップします。

❸ FOMA端末とパソコンを接続する
- ・Wi-Fiで接続する→P.49
- ・USB PC Linkで接続する→P.116

❹ パソコンで専用ソフトを起動

❺ ホスト名を入力▶ユーザー名／パスワードを設定
- ・本操作はパソコンで行う操作です。
- ・本操作で入力するホスト名は、操作②で確認したホスト名です。
- ・FOMA端末の通知パネルに[アイコン]（ユーザー登録通知）が表示されます。

❻ 通知パネルを開いて「ユーザー登録通知」▶FOMA端末に表示されたユーザー名と、パソコンで入力したユーザー名が同じか確認▶「はい」▶「OK」
- ・パソコンからFOMA端末のデータを操作できるようになります。

■ブラウザでPC Linkを利用する

ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「PC Link設定」▶「接続URL表示」を確認し、表示されているURLをパソコンのブラウザのアドレスバーに入力

USB PC LinkでFOMA端末とパソコンを接続する

PC接続用microUSBケーブル（試供品）でFOMA端末とパソコンを接続して、PC Linkを利用できるようにします。

1. FOMA端末を付属のPC接続用microUSBケーブルでパソコンに接続する
2. 通知パネルを開いて「USB接続」▶「USB PC Link」▶「OK」

■PC接続用microUSBケーブルを取り外す
→P.115

おしらせ

- 1台のパソコンにUSB PC Linkで接続して認識できるFOMA端末は1台のみです。

カメラ

■カメラ利用にあたって

- カメラは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、一部に暗く見える点や線、常に明るく見える点や線がある場合があります。また、光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などが付くと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていたあとは、画質が劣化することがあります。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色合いが異なる場合があります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色するなど、故障の原因となります。
- 撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- カメラ撮影中は電池の消費量が多くなるため、撮影が終了したら速やかにカメラを終了させることをおすすめします。電池残量が少ない状態でカメラ撮影を行うと、画面が暗くなったり乱れたりすることがあります。
- 手ブレ軽減（静止画）または手ブレ補正（動画）を「OFF」に設定している場合、撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく「オート」に設定して撮影することをおすすめします。
- 電池残量が少ないとき、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のシャッター音、動画撮影の開始音／終了音は鳴ります。また、音量を変更することや消去することはできません。
- カメラ撮影中は撮影認識LEDが点滅します。

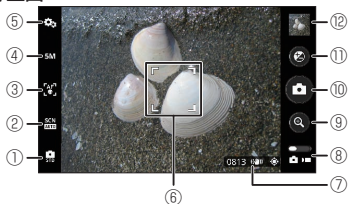
著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音などしたものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

撮影画面の見かた

■静止画

①撮影モード
- 標準撮影：標準の撮影モードです。
- クイックショット：短い時間ですばやく撮影できます。より綺麗に撮影したい場合は、撮影モードを「標準撮影」にしてください。
- ベストフォト：連写で撮影を行い、写りの良い3枚を自動で選択します。
- 連写：5枚から最大100枚の連続撮影モードです。
- 自分撮り：顔を検出すると、音と撮影認識LEDでお知らせし、自分撮りをサポートします。撮影するときは、画面中央をタップして撮影できます。
- タッチ撮影：タップした位置にピントを合わせ簡単に撮影できます。

②シーン
③オートフォーカス
④サイズ（画像サイズ）
⑤その他の設定：ライト、画質、手ブレ軽減、セルフタイマーなどの設定を行うことができます。
⑥フォーカス枠
⑦撮影可能枚数・手ブレ軽減・位置情報取得状態
⑧静止画／動画の切り替え
⑨ズーム：ボリュームキーでも調整できます。
⑩シャッター
⑪明るさ
⑫ギャラリー：撮影した静止画を見ることができます。

■動画

撮影前

撮影中

①シーン
②オートフォーカス
③サイズ（画像サイズ）
④その他の設定：ライト、画質、手ブレ補正などの設定を行うことができます。
⑤撮影可能時間・手ブレ補正
⑥静止画／動画の切り替え
⑦ズーム：ボリュームキーでも調整できます。
⑧録画の開始／終了
⑨明るさ
⑩ギャラリー：撮影した動画を見ることができます。
⑪撮影経過時間

カメラで撮影する

カメラで撮影した静止画と動画は、自動的にmicroSDカードに保存されます。microSDカードが挿入されていない場合は、撮影ができません。

静止画を撮影する

1 アプリケーション一覧画面で「カメラ」

2 カメラを被写体に向ける

3 「」
・シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

動画を撮影する

1 アプリケーション一覧画面で「カメラ」▶

2 カメラを被写体に向ける

3 「」
・録画開始音が鳴り、録画が開始されます。

4 「」
・録画終了音が鳴り、録画が終了します。

おしらせ

- 動画撮影中に通知音が鳴ると、通知音が録音される場合があります。

ギャラリー

カメラ撮影やサイトからのダウンロードなどで、microSDカードに保存した静止画／動画を表示／再生します。

- 表示可能な静止画のファイル形式は以下の通りです。
  JPEG（jpeg,jpg）、GIF（gif）、BMP（bmp）、PNG（png）
- 再生可能な動画のファイル形式について
  →P.120

1 アプリケーション一覧画面で「ギャラリー」
・撮影画像やダウンロード画像など、カテゴリー分けして表示されます。

2 いずれかのカテゴリーをタップ

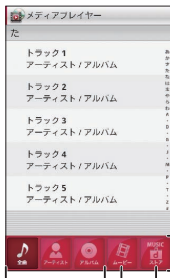
3 表示したい静止画／動画をタップ
・をタップすると、撮影日ごとの表示に切り替わります。
・カテゴリーや静止画／動画をロングタッチして、Bluetooth通信やメールでデータを送信したり、データの削除や詳細情報の確認などができます。

おしらせ

- 保存されている写真の枚数が多い場合、ギャラリー起動時にすべての写真を読み込むのに時間がかかることがあります。
- デジタル著作権管理技術（DRM）で保護されたコンテンツは他の端末と「共有」することはできません。
- デジタル著作権管理技術（DRM）で保護されたコンテンツは「データの初期化」をすると再生できなくなります。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを利用して、microSDカードに保存した動画や音楽を再生します。

- パソコンからmicroSDカードに音楽データを保存しておいてください。→P.114
- 再生可能な音楽データのファイル形式は以下のとおりです。
  AAC LC/LTP、HE-AACv1（AAC+）、HE-AACv2（enhanced AAC+）（3gp,mp4,m4a）、AMR-NB、AMR-WB（3gp）、MP3（mp3）、MIDI（mid,xmf,mxmf,imy,rtttl,rtx,ota）※、Ogg Vorbis（ogg）、PCM/WAVE（wav）、WMA（wma,asf）、PlayReady（.isma）
  ※再生はできますが、「メディアプレイヤー」アプリではリストに表示されません。
- 再生可能な動画のファイル形式は以下のとおりです。
  H.263（3gp,mp4）、H.264（3gp,mp4）、MPEG-4 SP（3gp）、WMV（wmv,asf）、WebM（.webm）、PlayReady（.ismv）

❶ アプリケーション一覧画面で「メディアプレイヤー」

■着信音に設定する

▶［≡］▶「設定」▶「着信音設定」▶設定する項目をタップ▶設定したい楽曲をタップ▶「決定」▶「設定」

■楽曲や動画を削除する

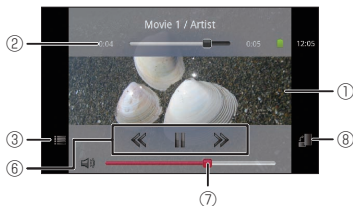
▶［≡］▶「設定」▶「コンテンツの削除」▶削除したい楽曲／動画の🗑をタップして赤い状態にする▶「削除」▶「OK」▶「OK」

■ボトムバーのアイコンを入れ替える

▶［≡］▶「設定」▶「アイコンの並べ替え」▶入れ替えたいアイコンをロングタッチ▶移動したいボトムバーの位置までドラッグ▶「決定」

・「ムービー」と「ストア」のアイコンは入れ替えできません。

❷ 楽曲または動画をタップ

楽曲再生画面

動画再生画面

①ジャケット画像または動画
- ジャケット画像をタップして②の表示／非表示を切り替えます。
- 動画をタップして②～⑧の表示／非表示を切り替えます。

②再生位置を指定
③リスト表示に戻る
④リピートOFF／リピートON／1曲リピート
⑤シャッフルOFF／シャッフルON
⑥楽曲・動画の先頭に戻るまたは前の曲へスキップ／再生または一時停止／次の曲へスキップ
⑦音量調整
⑧画面の自動回転のON／OFF切替

おしらせ

- デジタル著作権管理技術（DRM）で保護されたコンテンツは「データの初期化」をすると再生できなくなります。

プレイリストを作成する

プレイリストを利用して、楽曲をお好みの順番に再生することができます。

1 アプリケーション一覧画面で「メディアプレイヤー」▶ボトムバーのアイコンから「プレイリスト」
- ボトムバーに「プレイリスト」がない場合は「プレイリスト」を設定します。→P.120

2 「作成」▶プレイリスト名をタップ▶プレイリスト名を入力▶「OK」

3 「プレイリストに曲を追加」▶追加したい楽曲をタップ
- 「アーティスト」や「アルバム」から楽曲を選択することもできます。
- 選択された楽曲は ⊕ が赤い状態になり、押すたびにプレイリストに追加されます。

4 「決定」

■順番を入れ替える
▶ ≑ を移動したい位置にドラッグ

■プレイリストから楽曲を削除する
▶ 🗑 をタップして赤い状態にする

5 「完了」▶「OK」

Androidマーケット

Androidマーケットを利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスして、FOMA端末にダウンロード、インストールすることができます。

1 アプリケーション一覧画面で「マーケット」
- マーケット画面が表示されます。
- はじめて起動したときは、サービス規約が表示されますので、確認したら「同意する」をタップします。

おしらせ

- アプリケーションのインストールは、安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染やデータの破壊などが起きる可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- アプリケーションによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- Androidマーケットについての情報が必要な場合には、Androidマーケットの画面で[≡]▶「ヘルプ」をタップします。

アプリケーションをインストールする

1 マーケット画面でアプリケーションを検索

2 インストールしたいアプリケーションをタップ

・表示内容をよくご確認のうえ、画面に従って操作してください。

・お客様がアプリケーションをインストールすることにより、本FOMA端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションには特にご注意ください。

おしらせ

●ダウンロードを停止する場合は、通知パネルを開いてアプリケーションをタップし、「キャンセル」をタップします。

アプリケーションを購入する

有料アプリケーションの場合は、ダウンロードする前にアプリケーションの購入が必要です。

●アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後、アンインストールしたり再びダウンロードする場合、その都度料金を支払う必要はありません。

1 マーケット画面でアプリケーションを検索

2 購入したいアプリケーションをタップ

3 金額表示欄をタップ

・表示内容をよくご確認のうえ、画面に従って操作してください。

・お客様がアプリケーションを購入することにより、本FOMA端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションには特にご注意ください。

・画面に表示される「払い戻しポリシー」や「Googleの請求とプライバシーポリシー」など、重要事項についてはリンクをタップし、内容を確認してください。

■返金を要求する

購入後、規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリケーションは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金要求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金要求はできません。

アプリケーション購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、マーケット画面で［≡］▶「ヘルプ」で「アプリケーションの購入」の各項目をご覧ください。

おしらせ

- spモードをご利用のお客様は、FOMA端末の毎月のご利用料金と一緒に支払いを行うこともできます（コンテンツ決済サービス）。詳細はドコモのホームページをご覧ください。
- クレジットカードによる初回購入時には、Google Checkoutで使用するクレジットカードの情報を入力する必要があります。Google CheckoutはFOMA端末からアプリケーションを購入するための高速、安全、便利な購入手段です。Google Checkoutについて詳しくは、「http://checkout.google.com/」を参照してください。
  また、Google Checkoutの情報はFOMA端末に記録されます。画面ロックを設定しFOMA端末のセキュリティを確保してください。→P.93

アプリケーションを削除する

1. **マーケット画面で［≡］▶「マイアプリ」**
2. **削除したいアプリケーションをタップ**
3. **「アンインストール」▶「OK」**
   - 有料のアプリケーションでは「アンインストールと払い戻し」画面が表示されます。

GPS

本FOMA端末のGPS機能と対応するアプリケーションを使用して、現在地の確認や目的地までの経路検索などを行うことができます。

- GPSシステムの異常などにより損害が生じた場合でも、当社では一切の責任を負いかねます。
- FOMA端末の故障、誤動作、または停電などの外部要因（電池切れを含む）によって､測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても､当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため､位置の誤差による損害が発生しても､当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されていますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの車内
- 大雨、雪などの悪天候
- 携帯電話の周囲に障害物（人や物）がある場合
- 携帯電話のGPSアンテナ部周辺を手で覆い隠すように持っている場合

位置情報サービスを有効にする

位置情報を利用するサービスを使用するには、あらかじめGPS機能を有効にしておく必要があります。また、Wi-Fiやモバイルネットワーク基地局からの情報をもとに、おおよその位置情報を検出できるように設定することもできます。

GPS機能を有効にする

1. ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「現在地情報とセキュリティ」
2. 「GPS機能を使用」にチェックを入れる▶「同意する」

無線ネットワークでの現在地検索を有効にする

1. ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「現在地情報とセキュリティ」
2. 「無線ネットワークを使用」にチェックを入れる▶「同意する」

おしらせ

- 同意すると、Googleの位置情報サービスにより個人を特定しない形で位置情報を収集します。位置情報の収集はアプリケーション起動の有無にかかわらず行われます。

Googleマップを利用する

Googleマップを利用して、現在地の表示や別の場所の検索、経路の検索などを行うことができます。

- ●Googleマップを利用するには、3G／GPRSまたはWi-Fiで接続してデータ通信可能な状態にあることが必要です。
- ●あらかじめ位置情報サービスを有効に設定してください。→P.125
- ●Googleマップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

1 アプリケーション一覧画面で「マップ」

- はじめて起動したときは、マップの新機能を紹介する画面が表示されますので、「OK」をタップします。

■地図を拡大／縮小する

- 拡大：をタップ、2本の指の間隔を広げる、ダブルタップ（2回続けてタップ）
- 縮小：をタップ、2本の指の間隔を狭める、2本の指でタップ

■現在地を表示する

▶「」

■場所を検索する

▶「地図を検索」▶検索する場所を入力▶「実行」または検索候補をタップ

- 吹き出しをタップすると、詳細情報が確認できます。

■ストリートビューを見る

▶ストリートビューを表示したい地点をロングタッチ▶吹き出しをタップ▶「」

- ストリートビューに対応していない地域もあります。

■レイヤを表示する

- 地図上に道路の渋滞状況などの情報を重ねて表示したり、航空写真に切り替えたりすることができます。

▶「」▶表示したい項目をタップ

- 渋滞状況と路線図は提供地域が限定されています。

■地図をクリアする

- 表示されたレイヤや経路検索結果などをすべてクリアします。

▶「」▶「地図をクリア」

経路を調べる

目的地への経路を表示することができます。

1 地図表示中に[≡]▶「経路」

2 上のテキストボックスに出発地を入力

3 下のテキストボックスに到着地を入力

- をタップして、電話帳の住所や地図上の場所を指定することができます。

4 移動手段（（自動車）／（公共交通機関）／（徒歩））をタップ▶「経路を検索」

- 複数の経路が見つかった場合は、希望の経路をタップします。

ナビを利用する

目的地への音声ナビゲーションなどができます。

1 アプリケーション一覧画面で「ナビ」

・はじめてアプリケーションを起動した場合、Googleマップナビの説明が表示されますので、「同意する」をタップしてください。

2 以下の項目から選択

目的地を音声入力……声で目的地を入力します。

目的地を入力……文字入力で目的地を入力します。

連絡先……電話帳に登録されている住所から目的地を入力します。

スター付きの場所……Googleマップでスターを付けた場所から目的地を入力します。

・ナビゲーションが開始されます。

■ナビゲーションを終了する

▶［≡］▶「ナビの終了」

おしらせ

- 走行中は必ずドライバー以外の方が操作を行ってください。

プレイスを利用する

現在地の情報から、近くのお店や施設を検索し情報を表示することができます。検索したお店などはGoogleマップの画面に表示することができます。

1 アプリケーション一覧画面で「プレイス」

2 検索したい施設などをタップ

・検索結果の一覧が表示されます。

3 目的の施設などをタップ

・詳細な情報が表示されます。

Latitudeを利用する

Google Latitudeを利用すると、地図上で友人と位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有することができます。また、メールやSMSを送ったり、電話をかけたり、友人の現在地への経路が検索できます。

- 位置情報は自動的に共有されません。Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。
- Latitudeの詳細については、以下の操作でモバイルヘルプをご覧ください。
  Latitudeの画面で［≡］▶「地図を表示」▶［≡］▶「その他」▶「ヘルプ」▶「Latitude」

1 アプリケーション一覧画面で「Latitude」

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。また、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

■ワンセグのご利用にあたって

- ●ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- ●データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

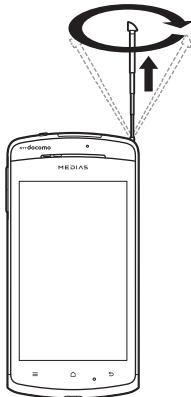
■放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- ・放送波が送信される電波塔から離れている場所
- ・山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- ・トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするために、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

■ワンセグアンテナについて

- ●ワンセグアンテナの方向を変える際は、無理に力を加えないでください。

おしらせ

- ●ワンセグアンテナを収納するには、ワンセグアンテナの下の方を持って、止まるまで押し入れます。

ワンセグを見る

1 アプリケーション一覧画面で「テレビ」

- はじめてワンセグを起動したときは、チャンネルを設定する必要があります。→P.129

■音量を調整する

▶ボリュームキーを押す

チャンネル設定をする

1 ワンセグ視聴画面で［≡］▶「設定」▶「エリア切替」

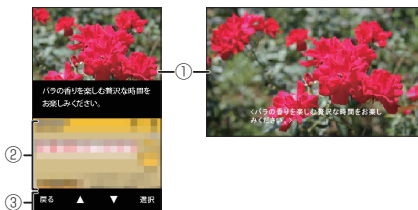
2 「未設定」▶「自動で設定する」

- チャンネルをスキャンし、チャンネル情報を登録します。
- 登録済みのエリアを選択すると、選択したエリアに切り替え、ワンセグを視聴します。

■チャンネルを手動で設定する

▶「エリアを選択する」▶エリアの地方、都道府県、地域をタップ

ワンセグ視聴画面の見かた

縦画面表示にするとデータ放送が表示されます。

①テレビ映像エリア
- 左右にフリックしてチャンネルを選局
- ロングタッチしてチャンネルリストを表示

②データ放送エリア

③操作エリア

■テレビ映像エリアをタップして表示

■データ放送エリアをタップして表示

データ放送操作エリア

番組表を利用する

地上波テレビやBSデジタル放送の番組表が閲覧できます。キーワードやジャンルによる番組検索や、ワンセグへの視聴・録画予約も可能です。

1 ワンセグ視聴画面で［≡］▶「番組表」
- はじめて番組表を起動したときは、利用規約に同意いただいた後、地域設定画面が表示されます。

視聴する番組を選ぶ

1 番組表で視聴したい番組をタップ▶「ワンセグ」▶「ワンセグ起動」

視聴や録画を予約する

ワンセグの視聴や録画を予約します。設定した日時にアラームで番組や録画の開始をお知らせします。

1 番組表で番組をタップ▶「ワンセグ」▶「ワンセグ録画予約」／「ワンセグ視聴予約」

2 各項目を確認▶「保存」▶「はい」

録画した番組を再生する

1 ワンセグ視聴画面で［≡］▶「録画番組の再生」

2 再生したい番組をタップ
- 番組が再生されます。
- ワンセグ視聴画面同様、操作エリアから番組の操作を行います。→P.129

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示され、テレビリンクを登録しておき、あとで関連サイトに接続できます。
- テレビリンクを登録するには、データ放送エリアでテレビリンク可能な項目をタップします。

1 ワンセグ視聴画面で［≡］▶「テレビリンク」

2 リンク先をタップ▶「はい」

■テレビリンクを削除する

▶削除したいテレビリンクをロングタッチ▶「削除」▶「1件削除」／「全件削除」▶「はい」

ワンセグの設定を行う

1. ワンセグ視聴画面で［≡］▶「設定」

2. 以下の項目から選択

データ放送設定

- **通信確認**……通信を行う際に確認メッセージ表示の有無を設定します。
- **位置情報の利用**……位置情報利用の有無を設定します。
- **端末情報の利用**……端末情報利用の有無を設定します。
- **放送局メモリ削除**……放送局メモリを削除します。

オフタイマー……ワンセグを自動的に終了するまでの時間を設定します。

字幕／音声……字幕や音声の設定を行います。

エリア切替……「チャンネル設定をする」→P.129

製品情報……製品情報を表示します。

アプリケーション

おサイフケータイ

おサイフケータイは、ICカードが搭載されており、お店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。さらに、読み取り機にFOMA端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、紛失時の対策として、おサイフケータイの機能をロックすることができるので、安心してご利用いただけます。

- おサイフケータイの詳細については『ご利用ガイドブック（spモード編）』またはdマーケットをご覧ください。
- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリケーションでの設定が必要です。
- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、ｉCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

ｉCお引っこしサービス

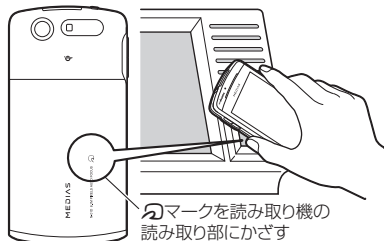
ｉCお引っこしサービスは、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取り替えになる際、おサイフケータイのiCカード内データを一括でお取り替え先のおサイフケータイに移し替えることができるサービスです。
ｉCお引っこしサービスはお近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。ｉCお引っこしサービスの詳細については『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

おサイフケータイを利用する

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイトよりおサイフケータイ対応アプリケーションをダウンロード後、設定を行ってください。なお、サービスによりおサイフケータイ対応アプリケーションのダウンロードが不要なものもあります。

1. アプリケーション一覧画面で「おサイフケータイ」
   - 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。
2. 利用したいサービスをタップ
3. サービスに関する設定を行う
   - サービスのサイトまたはアプリケーションから必要な設定を行います。

読み取り機にかざす

マークを読み取り機にかざすことで、通信を行うことができます。
おサイフケータイ利用時には、お知らせLEDの点灯（青）でお知らせします。

- 読み取り機にかざすときは次のことに注意してください。
  - ・FOMA端末を読み取り機にぶつけない
  - ・マークと読み取り機を平行にかざす
  - ・マークはできるだけ読み取り機の中心位置にかざす
  - ・読み取り機に認識されないときは、マークを前後左右にずらしてかざす
  - ・マーク面に金属物などを付けない

おサイフケータイをロックする

他の人におサイフケータイを無断で使われることを防ぐために、おサイフケータイにロックを設定します。

- 電源を切ってもおサイフケータイ ロック設定は解除されません。
- 本設定は「ロック解除セキュリティの設定（変更)」が「なし」以外に設定されているときに有効です。
- 本設定を設定／解除するときは「ロック解除セキュリティの設定 (変更)」で設定したロック解除セキュリティの入力が必要です。

1 アプリケーション一覧画面で「おサイフケータイ」▶［≡］▶「おサイフケータイ ロック設定」

2 以下の項目から選択

OFF……おサイフケータイ ロック設定を解除します。

ON

画面ロックと連動……画面ロックと連動してロックがかかるようにします。画面ロックを解除すると、おサイフケータイのロックも解除されます。

常にON……常にロックがかかります。解除するには、「おサイフケータイ ロック設定」を「OFF」にします。

トルカ

トルカとは、FOMA端末に取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、読み取り機やサイトから取得できます。取得したトルカは「トルカ」アプリケーションに保存され､「トルカ」アプリケーションを利用して表示、検索、更新ができます。

- トルカの詳細については『ご利用ガイドブック（spモード編）』またはdマーケットをご覧ください。

1 アプリケーション一覧画面で「トルカ」

おしらせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- ｉモード端末向けに提供されているトルカは、取得、表示、更新できない場合があります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
  - 読み取り機からの取得
  - 更新
  - トルカの共有
  - microSDカードへの移動、コピー
  - 地図表示
- IPの設定によって、トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでも、トルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- おサイフケータイ ロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。
- 重複チェックを「ON」に設定した場合、同じトルカを重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したいときは「OFF」に設定してください。
- メールを利用してトルカを送信する際は､トルカ(詳細)取得前の状態で送信されます。

おしらせ

- ご利用のメールアプリケーションによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。
- トルカをmicroSDカードに移動、コピーする際は、トルカ（詳細）取得前の状態で移動、コピーされます。
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

時計

1 アプリケーション一覧画面で「時計」

おしらせ

- をタップすると、バックライトのON／OFFを切り替えられます。
- をタップすると、microSDカードに保存されている静止画がスライドショーで表示されます。をタップするとスライドショーが停止します。
- をタップすると、「メディアプレイヤー」（P.120）または「音楽」のアプリケーションを起動して、音楽を再生できます。

アラームを設定する

1 時計表示中に「」

- ▶「設定」で「マナーモード中のアラーム」、「アラームの音量」、「スヌーズ間隔」、「ボリュームキーの動作」の設定ができます。

2 「アラームの設定」

3 アラーム時刻を設定▶「設定」

4 以下の項目から選択

アラームをONにする……アラームが動作するよう設定します。

時刻……アラーム時刻を設定します。

繰り返し……曜日ごとに、同じ時刻にアラームが鳴るように設定します。

アラーム音……アラーム音を設定します。

バイブレーション……アラーム音と同時にバイブレーションするように設定します。

ラベル……設定したアラームにラベルを付けます。

・アラームが鳴ったら、「停止」をタップしてアラームを止めます。「スヌーズ」をタップすると、「スヌーズ間隔」の設定で、再度アラームが動作します。

5 「完了」

カレンダー

FOMA端末のカレンダーと、Googleなどオンラインサービスのカレンダーを同期させて、スケジュールを管理できます。

・あらかじめGoogleアカウントを設定する必要があります。→P.50

1 アプリケーション一覧画面で「カレンダー」

■カレンダー表示を切り替える
▶[≡]▶「日」／「週」／「月」

予定を作成する

1 カレンダー表示中に予定を入れる日時をロングタッチ▶「予定を作成」

2 各項目を設定▶「完了」

おしらせ

●通知を設定した時刻になると、ステータスバーに[1]が表示されます。通知パネルを開いて内容を確認できます。「通知を消去」をタップすると通知が消去され、「すべてスヌーズ」をタップすると5分後に再度通知します。

予定リストを確認する

1 カレンダー表示中に[≡]▶「予定リスト」

■予定を変更／削除する
▶変更／削除したい予定をタップ▶[≡]▶「予定を編集」／「予定を削除」

カレンダーの設定を変更する

1 カレンダー表示中に[≡]▶「その他」

2 「設定」▶必要に応じて設定を変更する

- 予定の通知方法や着信音／バイブレーション、リマインダーの通知時刻の設定が行えます。

■Googleカレンダーなどのデータと同期する

▶「カレンダー」▶表示するカレンダーのアカウントをタップして、「同期、表示」にする▶「OK」

スケジュール

1 アプリケーション一覧画面で「スケジュール」

- スケジュール画面が表示されます。

スケジュールを登録する

1 スケジュール画面で登録したい日付をタップ▶「新規作成」▶項目を入力▶「保存」

スケジュールを確認する

1 スケジュール画面で確認したい日付をタップ

- カレンダーの下に登録内容が表示されます。登録内容をタップすると詳細情報が表示されます。
- 登録内容をロングタッチして、編集や削除などができます。

■メモ一覧画面でスケジュールを確認する

- 登録したスケジュールの内容は「メモ」でも確認できます。

▶[≡]▶「メモ一覧へ」▶メモ一覧画面（P.137）でスケジュールを確認

■スケジュールの設定を行う

- アラームの設定やアカウントの変更などを行います。

▶[≡]▶「その他」▶「設定」

ｉスケジュールを利用する

サイトからダウンロードしたｉスケジュールや、自動受信した週間天気予報のインフォメーションなどを、スケジュール画面に表示させることができます。

1 スケジュール画面で［≡］▶「ｉスケジュール一覧へ」

メモ

1 アプリケーション一覧画面で「メモ」

- メモ一覧画面が表示されます。
- 登録内容をタップすると詳細情報が表示されます。
- 登録内容をロングタッチして、編集や削除、優先順位の設定などができます。

■メモを新規登録する

▶「新規作成」▶項目を入力▶「保存」

■スケジュール画面でメモを確認する

- 「ToDo」「いつ?」を登録したメモは「スケジュール」でも確認できます。

▶［≡］▶「スケジュールへ」▶スケジュール画面（P.136）でメモを確認

電卓

1 アプリケーション一覧画面で「電卓」

- 左右にフリックして、「関数機能」と「四則演算」を切り替えることができます。
- 数式表示欄をロングタッチして、数式のコピー／貼り付けができます。
- 「CLEAR」をタップすると、入力した数値や演算子が削除され、ロングタッチすると数式をすべて消去します。
- ［∧］、［∨］をタップすると、数式の履歴を表示することができます。

Quickoffice

microSDカードに保存されているドキュメントをQuickofficeで表示、編集します。次のファイルを開くことができます。

- Wordファイル（dot、doc、dotx、dotm、docm、docx、txt）
- Excelファイル（xls、xlsx、xlsm、xlt、xltm、xltx）
- PPTファイル（ppt、potx、pptx、pptm、pps、pot、potm、ppsx、ppsm）
- PDFファイル（pdf）※

※編集は不可

1 アプリケーション一覧画面で「Quickoffice」

iD設定アプリ

「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイやiD対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単・便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を2種類まで登録できるので特典などに応じて使い分けることもできます。ご利用のカード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDに対応したカード発行会社へのお申し込みの他、iD設定アプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのサイト（http://id-credit.com/）をご覧ください。

1 アプリケーション一覧画面で「iD設定アプリ」

MEDIAS BEAUTY

メイクやファッションを楽しむことができます。メイクのナビゲーションやシミュレーション、ファッションのコーディネイトをシミュレーションするなど、あなたのおしゃれをサポートします。

- アプリケーションを起動するためのメニューアプリです。

1 アプリケーション一覧で「BEAUTY」

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

■対応エリアについて

本FOMA端末は3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz／GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

- 海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  - ・『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - ・ドコモの『国際サービスホームページ』
  - ・「ドコモ海外利用」アプリケーションのヘルプ

おしらせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

海外で利用できるサービス

通信サービス	3G	GSM/GPRS	GSM
電話	○	○	○
SMS	○	○	○
メール※1	○	○	×
ブラウザ※1	○	○	×
GPSの現在地確認※2	○	○	×

（○：利用可能、×：利用不可）

※1 ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミング設定をONにしてください。
→P.141

※2 GPS測位（現在地確認）を行うとパケット通信料がかかります。

おしらせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。接続可能な国・地域および海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外でご利用になる前の確認

ご出発前の確認

海外でご利用いただく際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■充電について

- 海外旅行で充電する際のACアダプタは、別売の「FOMA 海外兼用ACアダプタ01」または「FOMA ACアダプタ02」をご利用ください。
- 付属のワイヤレスチャージャー N01は、海外ではご利用になれません。

■料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。
- ご利用のアプリケーションによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

事前設定

■ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」（P.77）を「開始」にする必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。
  ホーム画面で［≡］▶「本体設定」▶「通話設定」▶「海外設定」▶「ネットワークサービス」▶「遠隔操作（有料）」
  設定については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■接続について

「モバイルネットワーク」の「通信事業者」を「自動選択」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。
「通信事業者」を手動で定額サービスの対象事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が一日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用にはパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

■ディスプレイの表示について

ステータスバーには利用中のネットワークの種類が表示されます。

：ローミング中
／：GPRS使用中／接続中
／：3G（パケット）使用中／接続中

- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

■日付と時刻について

自動で時刻を補正するように設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することでFOMA端末の時計の時刻や時差が補正されます。→P.99

- 海外通信事業者のネットワークによっては、自動設定が正しく行われない場合があります。その場合は、手動で設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。

■お問い合わせについて

- FOMA端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「ネットワークモード」を「自動」に設定してください。→P.141
- 「通信事業者」の設定で「利用可能なネットワーク」を「自動選択」に設定してください。→P.141

海外で利用するためのネットワークの設定

お買い上げ時は、自動的にネットワークモードや通信事業者を検出して切り替えるように設定されていますが、手動で切り替えることもできます。

1 ホーム画面で［≡］▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」

■ネットワークモードを設定する

▶「ネットワークモード」▶利用したいネットワークモードをタップ

■通信事業者を設定する

▶「通信事業者」▶「自動選択」または利用したい通信事業者のネットワークをタップ

・「ネットワークモード」の設定により、表示される通信事業者名は異なります。

■データローミングを有効にする

▶「データローミング」にチェックを入れる▶「OK」

海外利用

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

1. **アプリケーション一覧画面で「電話」▶「ダイヤル」**
2. **＋（「0」をロングタッチ）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力**
   - 地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合は、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
3. **「 」**

国際ダイヤルアシストを利用する

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかける場合、「国際ダイヤルアシスト」で登録した国に簡単に国際電話をかけることができます。

- あらかじめ「国際ダイヤルアシスト」を行う必要があります。→P.142
- 電話番号が「0」ではじまる場合のみ有効です。

1. **アプリケーション一覧画面で「電話」▶「ダイヤル」▶電話番号を入力▶「 」**
2. **「発信（XX）」（XX：国・地域名称）**
   - 「＋」と「国番号」が追加されて国際電話がかかります。

■国際ダイヤルアシストの設定を行う

1. **ホーム画面で［≡］▶「本体設定」▶「通話設定」▶「海外設定」▶「国際ダイヤルアシスト」**
2. **以下の項目から選択**

   自動変換機能……国際電話をかけるとき、国際ダイヤルアシストを利用して電話をかけるかどうかを設定します。

   国番号……国際ダイヤルアシストを利用するときに使用する国・地域名称と国番号を登録します。

   国際プレフィックス……国際ダイヤルアシストを利用するときに使用する国際プレフィックスを登録します。

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号をダイヤルして電話をかけます。→P.70

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じように「+」と「81」（日本の国番号）を先頭に付け、先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

海外でも日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

おしらせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

■日本から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

■日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず、国際アクセス番号+「81」(日本の国番号)をダイヤルしてもらう必要があります。

国際アクセス番号-81-90(または80)-XXXX-XXXX

国際ローミング時の設定を行う

- 海外の通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「通話設定」▶「海外設定」

2 以下の項目から選択

ローミング時着信規制……海外での着信を規制します。

ローミング着信通知……海外での不在着信時に、SMSでお知らせします。

ローミングガイダンス……海外にいることを発信者にお知らせします。

国際ダイヤルアシスト→P.142

ネットワークサービス→P.140

付録／索引

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック N29
- リアカバー N55
- ワイヤレスチャージャー N01
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01
- FOMA ACアダプタ 01※／02※
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※
- キャリングケース 02
- FOMA DCアダプタ 01※／02※
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- ワイヤレスイヤホンセット P01
- Bluetoothヘッドセット F01
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
- FOMA 補助充電アダプタ 02※
- FOMA 乾電池アダプタ 01※
- 骨伝導レシーバマイク 02
- ポケットチャージャー 01
- ワイヤレスチャージャー 01

※FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01が必要です。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要がある場合はソフトウェアを更新してください。→P.153
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」、またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■電源

FOMA端末の電源が入らない	
●電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.38
●電池切れになっていませんか。	P.39

■充電

充電ができない（お知らせLEDが点灯しない／点滅する）	
●電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.38
●アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットにしっかりと差し込まれていますか。	P.42
●FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01（別売）とACアダプタ（別売）を使用する場合、FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01とACアダプタ、およびFOMA 充電microUSB変換アダプタ N01とFOMA端末が正しく接続されていますか。	P.39
●PC接続用microUSBケーブル（試供品）を使用する場合、パソコンの電源が入っていますか。	-
●PC接続用microUSBケーブル（試供品）を使用する場合、他のUSB機器は取り外してください。	-
●PC接続用microUSBケーブル（試供品）を使用する場合、電源供給されているパソコン本体のUSBポートに直接接続してください。	-
●PC接続用microUSBケーブル（試供品）を使用する場合、携帯電話の電池残量が完全になくなっていませんか。ACアダプタなどで5分程度充電を行ってから接続してください。	-
●充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して、充電を停止する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	-

付属のワイヤレスチャージャーで充電できない(チャージインフォメーションが点灯しないまたは点滅（約0.25秒間隔）する)	
●専用ACアダプタを使用していますか。	P.40
●専用ACアダプタの電源プラグ、コネクタを奥まで差し込んでいますか。	P.40
●ワイヤレスチャージャーとFOMA端末の間に異物がありませんか。	P.40
●FOMA端末を充電エリアの中央付近に置いていますか。	P.40
●FOMA端末を正しい向きに置いていますか。	P.40
●専用ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、数秒後に差し込み直してください。	P.40

付属のワイヤレスチャージャーで充電できない(チャージインフォメーションが点滅（約2秒間隔）する)	
●FOMA端末の温度が高すぎたり、低すぎたりしていませんか。5℃～35℃の場所でFOMA端末をしばらく置いてから充電してください。	-

付属のワイヤレスチャージャーでの充電時間が長い	
●充電する場所の温度が高すぎたり、低すぎたりしていませんか。5℃～35℃の場所で充電してください。	-

■端末操作

操作中・充電中に熱くなる	
●操作中や充電中、また、充電しながらカメラ機能やワンセグ視聴／録画などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。	-
●カメラ機能やワンセグ視聴／録画を長時間行うと、FOMA端末が温かくなり、カメラ／ワンセグが終了することがあります。しばらくたってから、カメラ／ワンセグをご利用ください。	-
電池の使用時間が短い	
●圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。	-
●電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。	P.40
●電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。	P.40
電源断・再起動が起きる	
●電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。	-
タップしたり、キーを押しても動作しない	
●FOMA端末の電源が切れていませんか。	P.44
●正しくタッチパネルに触れていますか。	P.45
●画面ロックされていませんか。	P.44
●スリープモードになっていませんか。電源キーを押してスリープモードを解除してください。	P.44
タップしても正しく操作できない	
●手袋をしたままで操作していませんか。	P.45
●爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか。	P.45
●ディスプレイに保護シートを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。	P.45
タップしたり、キーを押したときの画面の反応が遅い	
●FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカード間で容量の大きいデータをやり取りしたときなどに起こる場合があります。	-
ドコモminiUIMカードが認識されない	
●ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。	P.34
時計がずれる	
●長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 日付と時刻が「自動」に設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。	P.99

FOMA端末の動作が不安定	
●ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 **■セーフモードの起動方法** 電源がOFFの状態から電源を入れ、防水に関する注意喚起のイラストの画面が消えてから、ホーム画面が表示されるまで、[≡]を押し続けてください。 ※お客様の使用状況によっては、[≡]を押すタイミングが変わる場合があります。 ※セーフモードが起動すると画面の左下に「セーフモード」と表示されます。 ※セーフモードを終了するには、電源を1度OFFにし起動し直してください。 ・必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 ・お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 ・セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。	-

■通話

着信音が鳴らない	
●マナーモードを設定中ではありませんか。	P.91
●留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していませんか。	P.78、80
●着信音量が最小に設定されていませんか。	P.91
●近接センサーを指などで覆うと、着信音量が小さくなる場合があります。	P.33
の表示が出て電話がかけられない	
●サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。	P.51
通話ができない（場所を移動してもの表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	
●電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモminiUIMカードを入れ直してください。	-
●電波の性質により、を表示している状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。	-
●電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。	-
通話中、などが画面に表示されない／通話中、ディスプレイに何も表示されない	
●スリープモードを解除してもなどが表示されない場合、近接センサーが保護シートなどで隠れている可能性があります。近接センサーを隠さないようにしてください。また、スリープモードを解除して、[≡]または[↩]をタップすると、などを表示させることができます。	P.33

■画面

ディスプレイが暗い	
●「画面消灯」で設定した時間が経過していませんか。	P.91
●ecoモードを設定していませんか。	P.92
●「画面の明るさ」の調整を変更していませんか。	P.91
●電池残量が少なくなっていませんか。	P.92

■音声

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	
●通話音量を変更していませんか。	P.72
●受話口が保護シートなどでふさがれていませんか。	P.33
●受話口と耳の位置がずれていませんか。	P.33
通話中、自分の声が相手に聞こえない、聞こえにくい	
●送話口が保護シートなどでふさがれていませんか。	P.33
●送話口と口の位置がずれていませんか。	P.33

■カメラ

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	
●カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。	-
●手ブレ軽減（静止画）または手ブレ補正（動画）が「OFF」になっていませんか。	P.118
●オートフォーカスを「AF OFF」で撮影していませんか。	P.118
●人物を撮影するときは、オートフォーカスを「顔検出AF」に切り替えてください。	P.118

■ワンセグ

ワンセグ視聴ができない	
●地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。	-
●チャンネル設定をしていますか。	P.129

■おサイフケータイ

おサイフケータイが使えない	
●おサイフケータイ ロック設定を設定していませんか。	P.133
●電池パックを取り外すと、おサイフケータイ ロック設定にかかわらずおサイフケータイの機能が利用できなくなる場合があります。おサイフケータイの機能を利用するには一度電源を入れてください。	-
●FOMA端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。	P.133

■海外利用

海外でFOMA端末が使えない（が表示されている場合）	
●WORLD WINGのお申し込みをされていますか。WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。	-
海外でFOMA端末が使えない（が表示されている場合）	
●国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。	-

●ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 ・「ネットワークモード」を「自動」に設定してください。 ・「通信事業者」を「自動選択」に設定してください。	P.141
●FOMA端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。	-
海外でデータ通信ができない	
●「データローミング」の設定を有効にしてください。	P.141
海外で利用中に、突然FOMA端末が使えなくなった	
●利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。	-
海外で電話がかかってこない	
●「ローミング時着信規制」を「開始」に設定していませんか。	P.143
相手の電話番号が通知されてこない/相手の電話番号とは違う番号が通知される/電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	
●相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。	-

■データ管理

データ転送が行われない	
●USB HUBを使用していませんか。 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。	P.114

■赤外線通信

電話帳のデータを全件受信できない	
●本体のメモリに空き容量はありますか。受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、受信を終了します。	-

■Bluetooth機能

Bluetooth通信対応機器と接続ができない/サーチしても見つからない	
●Bluetooth通信対応機器(市販品)側を機器登録待ち受け状態にしてから、FOMA端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器(市販品)、FOMA端末両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。	P.86

エラーメッセージ

PIN1がロックされました。 PINロック解除コードを入力してください。	
●PIN1コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。「緊急通報」をタップして、「＊＊05＊［PINロック解除コード］＊［新しいPIN1コード］＊［新しいPIN1コード］#」と入力してください。	P.95
●PINロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりドコモminiUIMカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。	P.95

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  ※本FOMA端末は、電話帳のデータをmicroSDカードにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（ディスプレイ・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - ・火災・けが・故障の原因となります。
  - ・改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ・ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
    - ・接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：カメラ、ボリュームキー、
  　　　　　受話口／スピーカー付近
- 本FOMA端末は防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページにてご案内させていただきます。

- ソフトウェアを更新するには「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3つの方法があります。
  - ・自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
  - ・即時更新：更新したいときすぐ更新を行います。
  - ・予約更新：アップデートパッケージをインストールする時刻を予約すると、予約した時刻に自動的にソフトウェアが更新されます。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ・通話中・圏外にいるとき
  - ・国際ローミング中
  - ・機内モード中
  - ・Wi-Fiネットワークとの接続中
  - ・メジャーアップデート中
  - ・USBテザリング利用中
  - ・Wi-Fiテザリング利用中
  - ・日付・時刻を正しく設定していないとき
  - ・ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ・ソフトウェア更新に必要な空き容量が十分でないとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません（ダウンロード中は電話の着信が可能です）。
- ソフトウェア更新の際にはサーバー（当社のサイト）へSSL／TLS通信を行います。
- ソフトウェア更新は電波が強く、アンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。

  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- 国際ローミング中、または圏外にいるときには、更新ができない旨のメッセージが表示されます。
- ソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、充電が不足しているため更新できない旨のメッセージが表示されます。

- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に更新の必要がない旨のメッセージが表示されます。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、書き換えが失敗した旨のメッセージが表示され、一切の操作ができなくなる可能性があります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中にて、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

おしらせ

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

ソフトウェア更新を自動で行う（自動更新）

新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。

- お買い上げ時は、自動更新設定が「自動で更新を行う」に設定されています。
- 書き換え可能な状態になるとステータスバーに（ソフトウェア更新有）が表示され、書き換え時刻の確認を行い、書き換え時刻の変更や今すぐ書き換えするかを選択できます。
- （ソフトウェア更新有）が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、（ソフトウェア更新有）は消去されます。
- 書き換え時刻になったとき、電池残量が不足していた場合や、通話中の場合はソフトウェア更新を開始せず、翌日の同時刻に再度ソフトウェア更新を行います。
- 自動更新設定が「自動で更新を行わない」になっている場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

自動更新の設定

1. **ホーム画面で［≡］▶「本体設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア更新」▶「ソフトウェア更新設定の変更」**
2. **ソフトウェア更新通知があったときの動作をタップ**
   - 自動でソフトウェア更新をするとき：「自動で更新を行う。」
   - 自動でソフトウェア更新をしないとき：「自動で更新を行わない。」

更新が必要な場合の動作

ソフトウェアが自動でダウンロードされると、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が表示されます。

1 通知パネルを開いて「」

2 書き換え方法を選択

・ソフトウェア更新が必要なときは、書き換え時刻が表示されます。

■指定時刻に書き換えを開始する

▶「OK」

・ホーム画面に戻ります。設定時刻になると書き換えを開始します。
・書き換えが完了するとステータスバーにが表示されます。は、一度確認すると消去されます。

■書き換え開始時刻を変更する

・アップデートパッケージのインストールを実行する時刻を設定します。

▶「時刻を予約してソフトウェアを更新する」の操作1へ→P.156

■すぐに書き換えを開始する

▶「すぐにソフトウェアを更新する」の操作1へ→P.156

おしらせ

●自動更新時刻にソフトウェア更新が起動できなかったときは、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が表示されます。

ソフトウェア更新を起動する（即時更新）

1 ホーム画面で［≡］▶「本体設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア更新」▶「更新を開始する」▶「はい」

・ダウンロードを開始すると、自動的にソフトウェア更新が実行されます。
・ダウンロードの途中で中止すると、それまでにダウンロードしたデータは削除されます。
・ソフトウェア更新の必要がないときには、「更新の必要はありません。このままお使いください。」と表示されます。

2 「OK」

・再起動後更新を開始します。
・更新中はすべての操作が無効となります。更新を中止することもできません。
・更新中に2回自動的に再起動します。

3 ホーム画面が表示

・ステータスバーにが表示されます。は、一度確認すると消去されます。

すぐにソフトウェアを更新する

1 「今すぐ開始」

2 「書換え処理を開始します」が表示▶「OK」

- 「書換え処理を開始します」の表示が約3秒経過すると、自動的に書き換えを開始します。
- 書き換え中は、すべての操作が無効となります。書き換えを中止することもできません。
- 書き換えが終了すると、自動的に再起動します。

3 再起動後、自動的にソフトウェア更新が開始

- 更新中は、すべての操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 更新が終了すると、約5秒後に自動的に再起動します。

4 通知パネルを開いて「☑」

- ソフトウェア更新を終了し、ホーム画面が表示されます。
- ステータスバーに更新が完了したことを表す✔（ソフトウェア更新が完了しました。）が表示されます。✔（ソフトウェア更新が完了しました。）は、一度確認すると消去されます。

ソフトウェア更新終了後の表示について

ステータスバーに✔が表示されます。通知パネルを開いてタップすると、ソフトウェア更新が完了したことを示すメッセージが表示されます。

時刻を予約してソフトウェアを更新する（予約更新）

アップデートパッケージのインストールを別の時間に予約をしたい場合には、ソフトウェア更新を行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

1 「開始時刻変更」

- 書き換え開始時刻設定画面が表示されます。
- 時刻はFOMA端末の時刻に合わせて表示されます。

2 希望の時刻を入力▶「設定」

- 時刻を設定します。
- 「＋」／「－」をタップして更新時刻を変更し、「設定」をタップします。

予約した時刻になると

1 「書換え処理を開始します」が表示▶「OK」

- 「書換え処理を開始します」の表示後約3秒経過すると、自動的にソフトウェア更新を開始します。
- ソフトウェア更新を予約した時刻には、電波の十分届くところでホーム画面を表示させておいてください。
- 予約した時刻にソフトウェア更新に必要な電池残量がないときは、翌日の同時刻にソフトウェア更新を行います。
- 予約した時刻にメジャーアップデート中の場合、ソフトウェアは更新されません。
- 予約した時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていたときは、ソフトウェア更新が優先されます。
- ソフトウェア更新の予約時刻になったときFOMA端末の電源を切った状態の場合は、電源を入れたあと、予約時刻と同時刻になったときにソフトウェア更新を行います。

メジャーアップデート

FOMA端末のOSのバージョンアップ（メジャーアップデート）を行います。

- メジャーアップデートの注意事項については、「ソフトウェア更新」の「ご利用にあたって」を参照してください。→P.153
- 最新のソフトウェアの状況については、メーカーサイト（MEDIAS NAVI）
http://www.medias.net/を参照してください。

1 ホーム画面で[≡]▶「本体設定」▶「端末情報」▶「メジャーアップデート」

2 以下の項目から選択

更新を開始する……メジャーアップデートを起動します。

ネットワークを利用して更新……ネットワークを利用してOSのバージョンアップを行います。

SDカードを利用して更新……microSDカードを利用してOSのバージョンアップを行います。

更新の確認……本FOMA端末がアップデート可能か確認を行います。

更新を定期的に確認する……自動で定期的に更新情報をチェックし、バージョンアップ可能か確認を行います。

■「ネットワークを利用して更新」について

- メジャーアップデートはmicroSDカードを経由して行うため、あらかじめmicroSDカードを挿入しておく必要があります。
- 次の場合はメジャーアップデートできません。
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - USB接続時のマウント中
  - ソフトウェア更新中
  - USBテザリング利用中
  - Wi-Fiテザリング利用中
  - メジャーアップデートに必要な電池残量がないとき
  - メジャーアップデートに必要なmicroSDカードの空き容量が十分でないとき
- 3Gネットワークを利用してメジャーアップデートを行う場合は、パケット通信料がかかります。パケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 更新するソフトウェアバージョンにより、Wi-Fiネットワークへの接続が必要です。
- Wi-Fiネットワークを利用してソフトウェア更新をする際は、あらかじめWi-Fi設定を行いWi-Fiネットワークに接続されていることを確認してください。→P.49

■「SDカードを利用して更新」について

- FOMA端末とパソコンを接続して（P.114）、メーカーサイト（MEDIAS NAVI）から、パソコンを使ってmicroSDカードに更新するソフトウェアを取り込んで、メジャーアップデートを行います。
詳しくは、メーカーサイト（MEDIAS NAVI）を参照してください。
- 次の場合はメジャーアップデートできません。
  - USB接続時のマウント中
  - メジャーアップデートに必要な電池残量がないとき
  - メジャーアップデートに必要なmicroSDカードの空き容量が十分でないとき
  - メジャーアップデート完了後、microSDカードに取り込んだ更新ソフトウェアは、手動で削除してください（メジャーアップデート正常終了後は、削除して問題ありません）。

主な仕様

■本体

項目		仕様
品名		N-01D
サイズ		高さ約128mm×幅約63mm×厚さ約10.9mm （最厚部約11.4mm）
質量		約135ｇ（電池パック装着時）
メモリ	ROM	2Gバイト
	RAM	512Mバイト
連続待受時間	FOMA／3G	静止時（「自動」設定時※1）：約630時間
	GSM	静止時（「自動」設定時※1）：約400時間
連続通話時間	FOMA／3G	約380分
	GSM	約450分
充電時間		ACアダプタ：約200分 DCアダプタ：約200分 ワイヤレスチャージャー N01：約300分
ワンセグ視聴時間		約380分
ディスプレイ	方式	有機EL 16,777,216色
	サイズ	約4.0inch
	画素数	384,000画素（480×800ドット）
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	1/3.2inch
	有効画素数	約810万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）	約800万画素
	デジタルズーム	静止画：最大約3.4倍／動画：最大約4.0倍
記録部	静止画記録枚数	microSDカード（2Gバイト）保存時：最大約9,999枚※2
	静止画連続撮影	撮影間隔0.03秒／0.1秒：5～25枚、撮影間隔0.5秒／1秒／2秒：5～100枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間	microSDカード（2Gバイト）保存時：最大約164分※3
	動画ファイル形式	MP4
	ワンセグ録画時間	microSDカード（2Gバイト）保存時：最大約600分（合計）※4

音楽再生	WMAファイル	約1,380分
	MP3ファイル	約1,380分
無線LAN※5		IEEE802.11b/g/n（2.4GHz帯）準拠
Bluetooth	対応バージョン	Bluetooth標準規格 Ver.4.0に準拠※6
	出力	Bluetooth標準規格 Power Class 2
	見通し通信距離※7	約10m以内
	対応プロファイル	HSP、HFP、A2DP、AVRCP、OPP、PBAP、SPP、ANP、PASP、FMP、TIP、PXP

※1 ネットワークの接続切り替え設定は、「モバイルネットワーク」（P.84）で行います。
※2 サイズ＝VGA（640×480）、画質＝ノーマル（ファイルサイズ＝160Kバイト）の場合で、1フォルダに格納できる最大件数となります。
※3 以下の条件での1件あたりの録画時間です。
サイズ＝VGA（640×480）、画質＝標準
※4 放送局、番組によって最大録画時間は異なります。
※5 本製品の無線LANは、Wi-Fi認証を取得しています。
※6 FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。
※7 周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。

■電池パック

品名	電池パック N29
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.8V
公称容量	1700mAh

■ワイヤレスチャージャー

	ワイヤレスチャージャー N01	専用ACアダプタ
入力	DC12V 600mA	AC100-240V 50-60Hz 18-24VA
出力	最大5W	DC12V 600mA
寸法	138×90×19mm	70.5×30.5×45.0mm（突起部、コード含まず）
質量	約140g	約120g
使用温度	5℃～35℃	5℃～35℃
規格	WPC準拠	-

携帯電話機の比吸収率（SAR）などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種N-01Dの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.408W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します。※2 NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページを参照してください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページを参照してください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
NECカシオモバイルコミュニケーションズのホームページ
http://www.n-keitai.com/lineup/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。（平成23年11月現在）

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.57 W/kg, and when worn on the body, is 0.79 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at https://gullfoss2.fcc.gov/oetcf/eas/reports/GenericSearch.cfm after search on FCC ID A98-QLC5698.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

Non-compliance with the above restrictions may result in violation of FCC RF Exposure guidelines.

---

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

FCC Regulations

This mobile phone complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
This mobile phone has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.
This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
Reorient or relocate the receiving antenna.

- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Declaration of Conformity

The product "N-01D" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1 (b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.n-keitai.com/lineup/index.html (Japanese only).

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.424 W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「デコメール®」「トルカ」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「ｉCお引っこしサービス」「iD」「WORLD WING」「公共モード」「spモード」「声の宅配便」「ドコモ地図ナビ」「ｉスケジュール」「おまかせロック」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「ケータイお探しサービス」「マチキャラ」「エリアメール」「あんしんスキャン」「ケータイデータお預かりサービス」および「トルカ」ロゴ、「mopera U」ロゴ、「おサイフケータイ」ロゴ、「iD」ロゴ、「ｉC」ロゴ、「spモード」ロゴ、「ケータイお探しサービス」ロゴ、「ドコモ地図ナビ」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Powered by emblend™ Copyright 2010-2011 Aplix Corporation. All Rights Reserved. emblendおよびemblendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 「PictMagic／ピクトマジック」「MEDIAS／メディアス」「MEDIAS NAVI／メディアスナビ」「Tap search」「Quick Shot／クイックショット」「MEDIAS WELLNESS」「Days」「MEDIAS BEAUTY」「おまかせコピー」はNECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。
- Microsoft®およびWindows®、Windows Media®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Exchange ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- T9®はNuance Communications, Inc.,および米国その他の国におけるNuance所有法人の商標または登録商標です。

- MovieSolid®およびそのロゴマークは、株式会社モルフォの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- 「Google」「Android」「Androidマーケット」「Gmail」「Google Calendar」「Google Maps」「Google Talk」「Google Latitude」「YouTube」「Picasa」および「Google」ロゴ、「Android」ロゴ、「Androidマーケット」ロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi CERTIFIEDロゴおよびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected Setup™、WPA™およびWPA2™はWi-Fi Allianceの商標です。

- らくらく無線スタートはNECアクセステクニカ株式会社の登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- 「mixi」は株式会社ミクシィの登録商標です。
- 「Facebook」はFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- ATOKは株式会社ジャストシステムの登録商標です。

- 「ついっぷる」はNECビッグローブ株式会社の商標または登録商標です。
- 「ソラダス」は、株式会社エムティーアイの登録商標です。
- 「G-SHOCK」は、カシオ計算機株式会社の登録商標です。
- QiマークはWireless Power Consortiumの商標です。
- 本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio LicenseおよびAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visual規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）およびAVC規格に準拠する動画（以下、AVC Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 VideoおよびAVC Videoを再生する場合
  - MPEG-4 VideoおよびAVC Videoを提供することについてMPEG-LAよりライセンスを受けた者から提供されるMPEG-4 VideoおよびAVC Videoを再生する場合

  上記以外の使用についてのライセンスは付与されていません。プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。（http://www.mpegla.com参照）
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerを搭載しています。
  Adobe Flash Player Copyright© 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Adobe、Flash、およびFlashロゴはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
  ADOBE® FLASH® PLAYER
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

- 著作権を含む知的財産権を保護するため、コンテンツ権利者はMicrosoft PlayReady™を採用しています。PlayReadyで保護されたコンテンツまたはWMDRM（Windows Media Digital Rights Management）で保護されたコンテンツにアクセスするため、本製品はPlayReadyを使用します。コンテンツ使用に対する適切なアクセス制限を本製品が施していない場合、PlayReadyで保護されたコンテンツを使用する機能を無効にするようコンテンツ権利者はMicrosoftに対し要求することができます。この無効化によって何も保護されていないコンテンツまたはPlayReady/WMDRM以外の保護技術で保護されたコンテンツが影響を受けることはありません。PlayReadyをアップグレードするよう、コンテンツ権利者はお客様に要求することができます。PlayReadyのアップグレードをお客様が拒否した場合、そのアップグレードを必要とするコンテンツにお客様はアクセスできません。
- ©MTI Ltd.

Windowsの表記について

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft®Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

Adobe® Flash® Playerのご使用について

- 本製品に搭載されているAdobe® Flash® Player（以下「本ソフトウェア」といいます）は、著作権法によって保護されています。お客様は、本ソフトウェアを使用する際以下に掲げた事項をお守りください。
  ①本ソフトウェアを複製し頒布しないこと。
  ②本ソフトウェアを改変もしくは翻訳しないこと、または本ソフトウェアの二次的著作物を作成しないこと。
  ③本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルしないこと、または本ソフトウェアのソースコードの解明を試みないこと。
  ④本ソフトウェアの使用によって被った派生損害、間接損害、付随的損害、特別損害、または利益の喪失に対する賠償請求をしないこと。

GPL／LGPL適用ソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License（GPL）またはGNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変することができます。
  GPLおよびLGPLの詳細は、ホーム画面で［≡］▶「本体設定」▶「端末情報」▶「法的情報」▶「オープンソースライセンス」を参照してください。

■ソースコードの入手方法

ソースコードの入手方法については、下記ウェブサイトにてご案内しています。
http://www.n-keitai.com/guide/download/
なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えいたしかねますので、予めご了承ください。

索引

あ

い

う

え

お

か

き

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

な

付録／索引

も

ゆ

よ

り

る

ろ

わ

英字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒各種お申込・お手続き
※ご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「docomo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ 機内モード：電波を発する機能を有効／無効にします。→P.84

■ マナーモード：着信音などFOMA端末から鳴る音を消します。→P.91

■ 公共モード（電源OFF）：電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。→P.83

■ バイブレータ：電話がかかってきたことを、振動で知らせます。→P.91

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉(24 時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600*** (無料)

* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※N-01Dからご利用の場合は、+81-3-6832-6600 でつながります。(「+」は「0」をロングタッチします。)

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

* 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外での故障について〈ネットワークオペレーションセンター〉(24 時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414*** (無料)

* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※N-01Dからご利用の場合は、+81-3-6718-1414 でつながります。(「+」は「0」をロングタッチします。)

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

* 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入されたFOMA 端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

 （局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部の IP 電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

 （局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部の IP 電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24 時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

試供品のお問い合わせ先〈NEC モバイルインフォメーションセンター〉

■一般電話からの場合

0120-102001

■携帯電話からの場合

0570-064919

※PHS からは受付ができないため、一般電話／携帯電話からおかけください。

受付時間　平日　午前 9：00 ～ 12：00
午後 1：00 ～ 5：00
（土・日・祝日・NEC 所定の休日を除く）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●試供品については、本書内でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT ドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

'11.11（1.2版）